

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)06企画費(細目)124交流拠点施設維持管理事業	決算書頁
41 - 0		151

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	311	観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-124-51
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	交流拠点施設維持管理経費	大山田支所振興課	課長 福永 賢治	0595-47-1150

事務事業の概要	対象	県内外の利用者		
	目的	市民の健康増進と地域間交流及び世代間交流を図る。		
	内容	<p>伊賀の国大山田温泉は平成28年度から平成30年度まで引き続き一般社団法人大山田温泉福祉公社に指定管理を委託しています。</p> <p>伊賀の国大山田温泉の平成29年度の入浴客数および売上高については、平成28年度と比較して減少しています。9月、10月の天候(台風・大雨)の影響、1月は道路面・水道管などが凍結するなど例年はないほどの非常に強い寒気の影響を受けたこと等が主な減少要因と考えられます。</p> <p>一方で、客単価は安定してきていますが入浴客数と売り上げ高が連動することから、経営改善のためにはリピーターの確保は勿論のこと、新規利用者を増やす工夫が喫緊の課題となっています。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	10,007,000円	指定管理料(上半期) 指定管理料(下半期)	5,003,500円 5,003,500円
	修繕料	1,373,220円	ポンプ取替工事	
	工事請負費	3,423,600円	さるびの温泉テントサイト改修工事	
	計	14,803,820円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	4,900	3,200	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	18,162	10,366	11,604	16,810	
		合計(A)	18,162	15,266	14,804	16,810	
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
人件費			2,338	1,569	1,569	1,501	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,338	1,569	1,569	1,501	
		合計(A+B)	20,500	16,835	16,373	18,311	
		市民1人当たりのコスト(円)	218	181	176	199	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	入浴客数			人	目標	150,000	150,000	150,000
					実績	148,279	138,820	136,437
	指標化できない成果			達成	92.5%	91.0%		

方向	縮小	課題及び改善案	イベント開催への創意工夫、従業員の意識改革、施設環境の改善、人材育成等、顧客サービスの更なる改善に取り組むとともに、集客活動、SNSを利用した周知などが必要である。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	422	身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-51
	基本事業 ①	地域バス交通確保維持事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	行政バス運行経費	企画振興部交通政策課	課長 森 健至	0595-22-9663

事務事業の概要	対象	中心市街地へ集まる市民や観光客、及び各支所管内における地域住民の移動手段の確保		
	目的	中心市街地へ集まる市民や観光客、及び各支所管内における地域住民の移動手段を確保するため、上野コミュニティバス「しらさぎ」及び各支所管内の行政サービス巡回車(行政バス)を運行する。		
	内容	<p>・中心市街地へ集まる市民や観光客及び各支所管内における地域住民の移動手段であり、鉄道や路線バス等の基幹交通を補完する支線的な機能を担う生活路線として、運行事業者(三重交通株)への委託により、上野コミュニティバス「しらさぎ」及び各支所管内の行政サービス巡回車(行政バス)を運行しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	91,430,350円	上野コミュニティバス運行業務委託料 27,940,350円 いがまち行政サービス巡回車運行管理業務委託料 9,212,400円 島ヶ原行政サービス巡回車運行管理業務委託料 3,304,800円 阿山行政サービス巡回車運行管理業務委託料 11,437,200円 大山田行政サービス巡回車運行管理業務委託料 4,325,400円 青山行政バス運行業務委託料 35,210,200円	
	その他	1,670,574円		
	計	93,100,924円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		平成29年度 【その他】 行政サービス巡回車使用料
			地方債	0	0	0	0		
			その他	3,802	3,751	3,918	3,670		
			一般財源	100,077	101,107	89,183	96,079		
	合計(A)	103,879	104,858	93,101	99,749				
	人件費	正規職員	業務量	0.14 人	0.14 人	0.14 人	0.14 人		経常経費から経常収入を引いた額が運行委託料となる。(上野コミュニティバス及び青山行政バス) 行政サービス巡回車は人件費、燃料費、整備費、保険料、その他管理費等が委託料となる。
			人件費	1,091	1,098	1,098	1,051		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		1,091	1,098	1,098	1,051				
合計(A+B)	104,970	105,956	94,199	100,800					
市民1人当たりのコスト(円)			1,114	1,135	1,009	1,091			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年間利用者数	上野コミュニティバス及び各支所行政バスの利用者	人	目標	110,000	110,000	110,000
				実績	83,260	71,453	72,645
指標化できない成果			達成	64.9%	66.1%		

方向	改善	課題及び改善案 事業者の営業バス路線や廃止代替バス路線を補完し、自ら交通手段を持たない高齢者等の重要な移動手段として、利用者のニーズに応じた運行改善を図りつつ維持存続する必要がある。一方で、効率的な移動手段の確保策のひとつとして、伊賀市地域公共交通網形成計画に基づき、地域のニーズに合った運行が可能となる地域運行バス制度を設けたことから、対象地域に関係する既存の行政バス路線については、縮小、廃止も見据えた再編を行っていく。
----	----	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)06企画費(細目)125バス等対策事業経費	決算書頁
43 - 0		151

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	422	身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-52
	基本事業	① 地域バス交通確保維持事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	地方バス路線維持経費		企画振興部交通政策課	評価責任者・連絡先 課長 森 健至 0595-22-9663

事務事業の概要	対象	交通事業者が廃止したバス路線の沿線地域住民等の移動手段の確保		
	目的	交通事業者が廃止したバス路線の沿線地域住民等の日常生活交通及び通院、通学等の交通手段を確保する。		
	内容	廃止代替バス路線である予野線、諏訪線、西山線、友生線、島ヶ原線、月瀬線、柘植線の7路線を沿線地域住民等の通院、通学をはじめとする日常生活交通として、運行事業者(三重交通株式会社)への委託により運行しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	84,220,560円	自主運行バス運行業務委託料 (友生線、予野線、島ヶ原線、諏訪線、西山線、柘植線)	84,220,560円
		7,421,760円	自主運行バス運行業務委託料(月瀬線)	7,421,760円
	計	91,642,320円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	86,747	86,291	91,642	91,643		
	合計(A)	86,747	86,291	91,642	91,643		
人件費	正規職員	業務量	0.24 人	0.24 人	0.24 人	0.24 人	
		人件費	1,870	1,882	1,882	1,801	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,870	1,882	1,882	1,801		
	合計(A+B)	88,617	88,173	93,524	93,444		
	市民1人当たりのコスト(円)	940	945	1,002	1,011		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	年間利用者数	廃止代替バスの利用者数	人	目標		200,000	200,000	200,000
				実績	156,502	146,167	142,665	
指標化できない成果			達成		73.1%	71.4%		

方向	改善	課題及び改善案	中心市街地と市内各地を結ぶ準基幹バスとして、学生や高齢者等自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であるが、利用者の減少傾向が続いていることから、利用者のニーズや利用動向に応じた路線の見直しやスクール混乗を可能とする運行改善を図り、利用者の増加及び収支の改善に努める必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)06企画費(細目)125バス等対策事業経費	決算書頁
44 - 0		151

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	422	身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	平成 21 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-53
	基本事業	① 地域バス交通確保維持事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	地域交通対策事業	企画振興部交通政策課	評価責任者・連絡先	課長 森 健至 0595-22-9663

事務事業の概要	対象	公共交通利用不便地区における移動手段の確保		
	目的	伊賀市地域公共交通網形成計画に基づき、住民と行政が支えあう形で公共交通利用不便地区の解消を図る。		
	内容	<p>・公共交通利用不便地区である比自岐地区における地域住民の移動手段を確保するため、住民自治協議会単位で構成する比自岐コスモス号運行連絡協議会への委託により、比自岐コスモス号を運行しました。</p> <p>・きじが台地区住民(特に高齢者)の移動手段の確保のため、名張市美旗地域コミュニティバス運営審議会が自主運行するコミュニティバス「はたっこ号」のきじが台地区への乗り入れに対して、きじが台地区住民自治協議会が負担する運行経費について補助金を支出しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,880,800円	地域運行型行政バス運行業務委託料	1,880,800円
	負担金、補助及び補助金	150,000円	コミュニティバス運行補助金	150,000円
	計	2,030,800円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	平成29年度 【その他】 地域運行型行政バス運賃収入 ※比自岐コスモス号運賃収入 (比自岐コスモス号の運賃収入は市の収入となり、その収入に相当する額を乗車実績委託料として比自岐コスモス号運行連絡協議会へ支払う。)	
		地方債	2,000	0	0		
		その他	279	340	281		300
		一般財源	2,350	1,750	1,750		3,072
		合計(A)	4,629	2,090	2,031		3,372
人件費	正規職員	業務量	0.31 人	0.31 人	0.31 人		0.31 人
		人件費	2,416	2,431	2,431		2,326
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費					
	小計(B)	2,416	2,431	2,431	2,326		
合計(A+B)	7,045	4,521	4,462	5,698			
市民1人当たりのコスト(円)		75	49	48	62		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
比自岐コスモス号の年間乗車人数	比自岐コスモス号の年間乗車人数	人	目標		1,800	1,800
			実績	1,709	1,392	1,404
指標化できない成果		達成		77.3%	78.0%	

方向	継続	課題及び改善案	高齢者など自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であり、引き続き安定した運行、運営が必要である。
----	----	---------	---

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)06企画費(細目)127行財政改革推進費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	725	PDCAサイクルによる計画の推進	平成 18 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-127-01
	基本事業	① 行政総合マネジメントサイクルの推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	行財政改革推進費		総務部行財政改革推進課	評価責任者・連絡先 課長 三根 秀徳 0595-22-9622

事務事業の概要	対象	市が行う事務事業、市職員																																	
	目的	職員一人ひとりが改革改善を意識し業務を行い、効果的・効率的な行財政運営に取り組むことができる																																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業評価、施策評価について各評価者により実施し、「各種決算に係る主要施策の成果報告書」、「行政経営報告書」として公表しました。 ・春の行政経営協議…年度末の施策評価を基に、平成29年度の取組方針や課題等の確認及び情報共有を図りました。 ・秋の行政経営協議…中間評価を基に、事業の進捗状況や社会情勢の変化を踏まえ、事務事業の重点化や施策の優先度を決定し、平成30年度予算編成に反映しました。 ・全所属を対象にインセンティブ予算制度を導入し職員一人ひとりのコスト意識の向上と財政運営の健全化の推進を図りました。 ・市民サービスの水準を向上させるため、住民課と協働して平成29年10月に住民課窓口業務の一部委託を開始しました。 ・伊賀市総合計画審議会による外部評価を実施しました(10月)。 ・施設所管課及び管財課と協働して公共施設最適化計画第Ⅰ期実行計画を推進しました。 ・補助金等の適正化に関する指針・審議会等の見直し方針に基づき、現状の把握を行いました。 																																	
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>72,000円</td> <td>総合計画審議会委員報酬</td> <td>72,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>9,960円</td> <td>旅費</td> <td>9,960円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>260,579円</td> <td>消耗品費</td> <td>245,222円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>燃料費</td> <td>13,917円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>食糧費</td> <td>1,440円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>5,320円</td> <td>有料道路通行料</td> <td>5,320円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>347,859円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	72,000円	総合計画審議会委員報酬	72,000円	旅費	9,960円	旅費	9,960円	需用費	260,579円	消耗品費	245,222円			燃料費	13,917円			食糧費	1,440円	使用料及び賃借料	5,320円	有料道路通行料	5,320円	計	347,859円				
経費	金額	摘要																																	
報酬	72,000円	総合計画審議会委員報酬	72,000円																																
旅費	9,960円	旅費	9,960円																																
需用費	260,579円	消耗品費	245,222円																																
		燃料費	13,917円																																
		食糧費	1,440円																																
使用料及び賃借料	5,320円	有料道路通行料	5,320円																																
計	347,859円																																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	308	671	348	585		
		合計(A)	308	671	348	585		
	人件費	正規職員	業務量	3.75 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	
人件費			29,217	31,364	31,364	30,004		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	29,217	31,364	31,364	30,004		
		合計(A+B)	29,525	32,035	31,712	30,589		
		市民1人当たりのコスト(円)	314	344	340	331		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		行政評価を実施した所属数の割合	行政評価を実施した所属数 / 全所属数	%	目標	100	100
				実績	84.1	94.2	98.9
	指標化できない成果			達成		94.2%	98.9%

方向	課題及び改善案	<p>「評価の透明性の確保」「アカウントビリティの向上」「職員の意識改革」を主として、第2次再生計画の更なる推進を図るため、外部評価の補助資料を作成する。</p> <p>職員数減少の時代において、市民サービスを維持、向上させる取組みとして、平成29年10月から戸籍住民課窓口業務の民間委託を開始したが、更に民間業務委託の拡大、検討を図るため、内閣府が行う地方分権改革・提案募集制度を活用する。</p>
----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)07文化振興費(細目)128文化振興経費	決算書頁
46 - 0		153

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-01
	基本事業	① 文化・芸術振興事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	文化振興一般経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	①「岸宏子文学振興基金」積立て②伊賀コミュニティオーケストラ ③上野文化美術保存会及び市民④美術芸術に親しむ市民																																		
	目的	①地域の文学振興に資するため「岸宏子文学振興基金」を設置し、運用益等を積立てる②市民管弦楽団の育成により、市民の音楽を実践する場や鑑賞する場を増やし、音楽文化の振興を図る③上野天神祭のダンジリ行事の文化継承を図る																																		
	内容	<p>①故岸宏子氏から寄付を受けた建物を文学振興のために活用する方法について、市民を交えたワークショップを2回(7月10日、9月26日)開催し意見交換をしました。文学振興を行う市民活動組織をつくり活用する方法を考えるなど様々な意見がありました。組織作りに向け検討をしていくことを協議しました。 基金額年度当初116,902,131円+利息19,745円+著作権使用料581,710円=117,503,586円</p> <p>②市の音楽文化振興と市民管弦楽団の育成を目的とした寄附金を財源として、伊賀コミュニティオーケストラに運営助成を行いました。伊賀コミュニティオーケストラは年間活動計画を立て、月2回の合奏練習(演奏会前は月4回)を行い演奏会を計3回実施しました。</p> <p>③上野天神祭のダンジリ行事の保存継承、情報発信などに取り組むための支援として、上野天神祭ダンジリ行事保存継承交付金を、また、ユネスコ登録を記念して行われた記念事業に対し補助金を交付しました。市民への意識定着やより多くの観光客が訪れるよう情報発信に努めました。</p> <p>④故穠月明氏のご遺族から建物、土地、作品及び図書や古美術品等の寄贈をいただきました。今後伊賀市の文化芸術振興のための活用方法や美術館としての運営方針等を検討します。</p>																																		
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員保険料</td> <td>126,412円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>872,150円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>300,000円</td> <td>市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,300,000円</td> <td>コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6,700,000円</td> <td>上野天神祭のダンジリ行事保存継承事業交付金(上野文化美術保存会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,000,000円</td> <td>上野天神祭のダンジリ行事ユネスコ登録記念事業補助金(伊賀市民祝賀花火大会実行委員会)</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>12,093円</td> <td>文化振興基金積立金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>601,455円</td> <td>岸宏子文学振興基金積立金</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>227,495円</td> <td>消耗品、燃料費、図書購入費 他</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,139,605円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員保険料	126,412円		事務補助員賃金	872,150円		負担金、補助及び交付金	300,000円	市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)		2,300,000円	コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)		6,700,000円	上野天神祭のダンジリ行事保存継承事業交付金(上野文化美術保存会)		1,000,000円	上野天神祭のダンジリ行事ユネスコ登録記念事業補助金(伊賀市民祝賀花火大会実行委員会)	積立金	12,093円	文化振興基金積立金		601,455円	岸宏子文学振興基金積立金	その他事務経費	227,495円	消耗品、燃料費、図書購入費 他	計	12,139,605円			
経費	金額	摘要																																		
事務補助員保険料	126,412円																																			
事務補助員賃金	872,150円																																			
負担金、補助及び交付金	300,000円	市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)																																		
	2,300,000円	コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)																																		
	6,700,000円	上野天神祭のダンジリ行事保存継承事業交付金(上野文化美術保存会)																																		
	1,000,000円	上野天神祭のダンジリ行事ユネスコ登録記念事業補助金(伊賀市民祝賀花火大会実行委員会)																																		
積立金	12,093円	文化振興基金積立金																																		
	601,455円	岸宏子文学振興基金積立金																																		
その他事務経費	227,495円	消耗品、燃料費、図書購入費 他																																		
計	12,139,605円																																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	3,498	9,025	4,214	7,217		
	一般財源	1,209	0	7,926	0		
	合計(A)	4,707	9,025	12,140	7,217		
人件費	正規職員	業務量	0.75 人	0.85 人	0.93 人	0.90 人	
		人件費	5,844	6,665	7,293	6,751	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	5,844	6,665	7,293	6,751		
	合計(A+B)	10,551	15,690	19,433	13,968		
	市民1人当たりのコスト(円)	112	169	209	152		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標		650	660
	演奏会等来場者数	より多くの人に関心を持つことにより音楽文化が向上する	人	実績 677	655	597	
	指標化できない成果			達成	100.8%	90.5%	

方向	改善	課題及び改善案
		<p>【岸宏子文学振興基金】文学振興のための活用について、より効果的な活用方法について具体的な検討を進めます。</p> <p>【市民管弦楽団運営補助金】財源としている篤志寄附金が平成30年度で最終年度となるためこれまでの取り組みの効果が期待できるよう補助対象者と協議を続けます。</p> <p>【美術館整備及び運営】文化芸術振興のため寄附いただいた建物、資料等を効果的な活用をするため、美術館の整備運営について検討を行います。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-51
	基本事業	① 文化・芸術振興事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	美術展覧会運営経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	一般市民、造形芸術活動に取り組む市民(15歳以上の市在勤者、在学者及び市出身者を含む。)		
	目的	造形芸術への創作意欲の向上、芸術文化の振興に資する		
	内容	<p>造形芸術作品を発表する場と、優れた作品を鑑賞する機会を提供するため、(公財)伊賀市文化都市協会との共催で、有識者8人による運営委員会を組織し、事業計画等を協議、第13回伊賀市民美術展覧会市展「いが」を開催しました。</p> <p>今年度から会場を伊賀市文化会館に、開期を3月に変更して開催し、スポットライトを使用するなど、これまでに比べ作品を効果的に演出する展示を行うことが出来ました。</p> <p>「絵画」「彫塑工芸」「写真」「書」の4部門において作品を公募し、審査員による公開審査を実施し、審査の結果、各部門ごとに市展「いが」賞、議長賞、教育委員会賞など9種類の賞を決定しました。入賞作品及び入選作品、無鑑査対象作品を合わせ総点数164点を、文化会館ロビー、ホワイエ等で5日間に渡り展示し、一般の観覧に供しました。</p> <p>運営委員会では、今後、より魅力のある市展となるよう今年度の開催を振り返り次年度へ向けての意見交換を行いました。</p> <p>一般応募作品数 128点(H28実績 127) 入場者数1,345人(H28実績 1,788)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	250,800円	伊賀市民美術展覧会運営委員報酬 144,000円 伊賀市民美術展覧会審査員報酬 106,800円	
	報償費	273,000円	賞金	
	旅費	83,002円	審査員及び運営委員旅費	
	その他事務経費	44,872円	消耗品費、食糧費、通信運搬費	
	計	651,674円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	200	200	0	200	
		一般財源	605	572	652	564	
		合計(A)	805	772	652	764	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.34 人	0.25 人	0.24 人	0.25 人	
		人件費	2,649	1,961	1,882	1,876	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	2,649	1,961	1,882	1,876	
合計(A+B)	3,454	2,733	2,534	2,640			
市民1人当たりのコスト(円)		37	30	28	29		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	一般応募数	造形芸術活動に取り組む人を増やす	人	目標	160	160	160
				実績	145	127	128
指標化できない成果		達成		79.4%	80.0%		

方向	民間活力導入	課題及び改善案	<p>出品者の裾野を広げる必要があります。特に若年層の出品者数が少なく、60歳以上の方が73%を占めているのが現状です。</p> <p>開催日時や開催場所を含め、民間の力も活用し、より魅力のある市展となるよう検討します。</p>
----	--------	---------	--

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)07文化振興費(細目)128文化振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-52
	基本事業	① 文化・芸術振興事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	文化祭開催経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	芸術文化活動に携わる者及び一般市民		
	目的	芸術文化活動を発表する場を提供し、参加者(団体)相互の意識を高め、それぞれの活動内容の充実、また、それらを見たり触れることにより新たな人材の発掘や育成に役立てる		
	内容	<p>芸術文化活動に取り組む諸団体及び個人が、日頃の活動の成果を発表する場として、また、文化祭を通じてお互いの文化意識を高め活動内容のより一層の向上を図るため、市内の文化団体、各地区文化サークルの代表者などで構成する「伊賀市民文化祭実行委員会」に委託し、舞台部門、展示部門ともに開催しました。</p> <p>展示部門： 絵画、書、写真、いけばな、手芸、工芸など 11月2日(木)から11月5日(日) 舞台部門： 総合フェスティバルⅠ、Ⅱ、音楽祭など 11月3日(金祝)、11月11日(土)、11月12日(日)、11月19日(日)、11月23日(木祝) 参加者数 58団体、個人 1人(H28: 66団体、個人 2人) 入場者数 3,312人(H28: 3,743人出品者出演者含む) 内訳 展示部門 966人(内出品者188人)、舞台部門 2,346人(内出演者 938人)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,000,000円	2017伊賀市民文化祭事業委託料 (2017伊賀市民文化祭実行委員会)	
	使用料及び賃借料	486,000円 192,940円	平成29年度伊賀市民文化祭会場設営撤去業務委託 (大和工芸) 会場借上料	
	計	1,678,940円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,491	1,750	1,679	1,800
		合計(A)	1,491	1,750	1,679	1,800
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.07 人	0.04 人	0.09 人	0.07 人
		人件費	546	314	706	526
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	546	314	706	526
合計(A+B)	2,037	2,064	2,385	2,326		
市民1人当たりのコスト(円)		22	23	26	26	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入場者数	多くの市民が参加したくなる、または観たくなる文化祭にする	人	目標		3,700	3,700
			実績	3,740	3,743	3,312
指標化できない成果		達成		101.2%	89.5%	

方向	改善	課題及び改善案	部門により参加者数の増加は見られるが参加者が固定化している。また部門により観覧者の減少が著しくなっています。文化芸術に親しむ市民を市内全域に広め、文化祭を充実させるため、実行委員会を中心に運営方法等の見直しを検討します。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-54
	基本事業	③ 芭蕉翁顕彰事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	先賢顕彰費		伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 稲森 真一 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	横光利一顕彰「雪解」のつどい実行委員会・県内外市民、文豪横光利一野村区顕彰会		
	目的	郷土の偉人の顕彰を行うこと、その生き方を学ぶことで、郷土を愛し郷土に誇りを持つことを次世代に繋げる。		
	内容	<p>・「雪解のつどい」実行委員会に対し補助金を交付しました。今年度は平成30年3月17日(土)に第20回「雪解」のつどい 横光利一誕生120年記念事業が開催され、高校生によるビブリオバトル、芥川賞作家伊藤たかみさんを迎えたトークなどが行われ、横光利一の作品を中心に顕彰を行いました。テーマ『誕生120年 若者が読んだ横光利一』</p> <p>・文豪横光利一野村区顕彰会に横光公園の維持管理と「横光利一心のふるさと公園」敷地内の樹木管理を委託しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	349,800円	横光公園管理委託 (委託先:文豪横光利一野村区顕彰会)	150,000円
	負担金、補助及び交付金	169,000円	横光利一心のふるさと公園樹木管理委託 雪解のつどい実行委員会補助金	199,800円 169,000円
	計	518,800円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	120	0		
	一般財源	219	399	399	399		
	合計(A)	219	399	519	399		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.28 人	0.28 人	
		人件費	0	0	2,196	2,101	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	2,196	2,101		
合計(A+B)	219	399	2,715	2,500			
市民1人当たりのコスト(円)			3	5	30	28	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	「雪解」のつどい参加者数	「雪解」のつどいへの一般参加者数	人	目標		100	100	120
				実績	90	100	120	
指標化できない成果			達成		100.0%	120.0%		

方向	継続	課題及び改善案	伊賀市の偉人については、市全体で考えていく必要があります。また、伊賀市には多くの偉人が輩出されているので、いがまち以外の部分も発掘すべきと考えられます。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	611 国籍や文化の違いを認め、共生する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-129-51
	基本事業	① 多文化交流の促進		
	事務事業名	多文化共生推進事業	担当部署	部・課名等 人権生活環境部市民生活課
				評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-22-9638

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	外国人と日本人との間にある言葉、制度、心の壁を下げる。		
	内容	<p>外国人と交流、共生できる地域社会をつくるため、言葉や文化の違いから生じる様々な問題の解決に取り組み、国際交流及び多文化共生の推進を図りました。</p> <p>(1)多文化共生推進事業</p> <p>①外国人住民の生活相談等を多言語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)で実施しました。(窓口・電話相談件数4,899件)また、毎月第1木曜日に外国人のための行政書士相談を実施しました。(相談件数4件)</p> <p>②新規に転入してきた外国人を対象に生活オリエンテーションを実施しました。(58件)</p> <p>③外国人集住都市会議に参加し、調査研究に取り組みました。</p> <p>④伊賀市国際交流協会に次の多文化共生事業を委託しました。</p> <p>・多言語情報紙の発行、学習支援教室「ささゆり」の運営、国際交流フェスタの開催</p> <p>⑤「やさしい日本語と外国人とのコミュニケーション講座」を開催しました。(計2回、参加者23名)</p> <p>(2)国際交流協会支援事業</p> <p>市民による国際交流や多文化共生の推進を図るため、国際交流協会の運営に対し補助を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	7,364,680円	多文化共生嘱託員報酬(4人)	
	需用費	326,016円		
	多文化理解促進事業委託料	171,610円	多文化共生のまちづくり促進事業 122040 多文化共生マネージャー講師 49570	
	多文化共生事業委託料	2,485,000円	国際交流協会への委託(伊賀市国際交流協会)	
	補助金	2,440,000円	国際交流協会事業補助金	
	筆耕翻訳料	95,040円		
	その他	1,295,667円		
	計	14,178,013円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		自治体国際化協会助成金 597,183円 国際交流基金利子 1,450円 事業参加負担金 42,000円
			地方債	0	0	0	0		
			その他	901	1,014	641	1,904		
			一般財源	13,759	13,989	23,537	13,709		
	合計(A)	14,660	15,003	24,178	15,613				
		人件費	正規職員	業務量	0.98 人	0.98 人	0.97 人		0.97 人
	人件費			7,636	7,685	7,606	7,276		
	臨時・嘱託・再雇用職員			業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
				人件費	180	181	165		164
小計(B)	7,816			7,866	7,771	7,440			
合計(A+B)	22,476	22,869	31,949	23,053					
	市民1人当たりのコスト(円)		239	245	343	250			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	外国人住民が住んでよかったと感じる割合	外国人住民アンケートの結果。2年に1度の実施。実績H25年度、H27年度。	%	目標	—	50	50	50
				実績	33	—	36	—
指標化できない成果			達成	—	—	72.0%	—	

方向	継続	課題及び改善案 外国人住民の相談件数は依然として多く、また、庁内での通訳や翻訳などもあり、多文化共生嘱託員は多忙を極める。多文化理解講座やサポーター養成講座の参加者は多いので、関りを持ちたい日本人も多いと考える。今後も多文化理解講座等の開催を通して、市民に多文化共生の理解を深めるとともに、協力してくれる人材の発掘に努めたい。
-----------	-----------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	621	豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-130-51
	基本事業	③ 芭蕉翁顕彰事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	都市間交流推進事業		企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	俳句にゆかりのある都市や、東大寺造営や再建などで歴史的に関係の深い都市		
	目的	交流を深め、情報交換等を通じて、伊賀市の魅力を発信する。		
	内容	<p>奥の細道サミットin高岡(10月7日・8日)に参加しました。理事会、総会、記念講演会、交流会、高岡市内視察に出席しました。総会では「俳句」のユネスコ無形文化遺産登録推進事業について伊賀市から俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会設立の報告を行い、協議会への加入について呼びかけました。</p> <p>大垣市と双方の芭蕉ゆかりの行事を通じて交流を行いました。 10月12日 芭蕉祭(伊賀市) 10月15日 蛤塚忌(大垣市)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	55,980円	高岡市・奥の細道サミット	55,980円
	負担金、補助及び交付金	40,000円	奥の細道サミット負担金 (奥の細道サミット事務局)	30,000円
	その他事務経費	2,538円	奥の細道サミット参加者負担金 (奥の細道サミットin高岡大会実行委員会)	10,000円
			消耗品	
	計	98,518円		

項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	273	134	99	366
	合計(A)	273	134	99	366
人件費	正規職員	業務量 0.05 人	0.30 人	0.07 人	0.03 人
	人件費	390	2,353	549	226
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
	人件費				
	小計(B)	390	2,353	549	226
合計(A+B)	663	2,487	648	592	
市民1人当たりのコスト(円)	8	27	7	7	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
交流都市数(団体含む)	交流を行った自治体・団体数(延べ)	団体	目標	51	51	51
			実績	23	38	25
指標化できない成果		達成		74.5%	49.0%	

方向	改善	課題及び改善案	必要性、効果、若しくは実施後の検証結果等を見極め参加交流事業等の選択を行う必要があります。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-131-05
	基本事業	② 文化施設維持管理事業		
	事務事業名	文化施設維持管理経費	担当部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
				評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民、市外在住者		
	目的	文化会館ほか3ホールの適切な管理運営及び指定管理者の自主事業の企画、実施等を通じて市民の文化芸術活動を振興する。		
	内容	<p>伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、あやま文化センター及び青山ホールの管理運營業務を(公財)伊賀市文化都市協会へ指定管理者制度に基づき委託しました。公平公正に施設の貸し出しを行い、また、施設の維持管理を行いました。多くの市民が優れた文化芸術の鑑賞の機会が得られるよう、各種ジャンル、年齢層等を考慮し、市民ニーズに応じた多彩な公演事業の実施等自主事業の展開に努めました。</p> <p>施設の維持管理についてはどのホールも老朽化が進み、修繕箇所が多発しています。ふるさと会館いが小ホール系統空冷エアコン室外機修繕、あやま文化センター自動火災報知設備用基盤取替修繕、あやま文化センター機会室内ビット排水用水中ポンプ取替修繕、青山ホール冷温水ポンプ応急修理、青山ホール冷温水ポンプ取替修繕を行い、施設の改善に努めました。</p> <p>公共施設最適化計画に基づく伊賀支所周辺整備に係る市民説明会において、ふるさと会館大ホールについて説明を行いました。</p> <p>【H29自主事業数】 伊賀市文化会館 19事業、ふるさと会館いが 5事業、青山ホール 4事業、あやま文化センター 5事業、アウトリーチ・ロビーコンサート等 11事業、伝統文化継承・芸術音楽活性化事業 12事業</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		需用費(修繕料)	2,110,320円	ふるさと会館いが小ホール系統空冷エアコン室外機修繕 ほか
		委託料	191,559,800円	伊賀市文化会館ほか3館指定管理料 (伊賀市文化都市協会)
		使用料及び賃借料	2,923,552円	AED借上料 80,352円
				伊賀市文化会館駐車場借上料 1,718,500円
				施設使用減免申請に係る会場借上料等 1,124,700円
		その他事務経費	2,511,018円	光熱水費 2,511,018円
		計	199,104,690円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	194,640	199,720	199,105	201,429	
	合計(A)	194,640	199,720	199,105	201,429			
	人件費	正規職員	業務量	0.31 人	0.29 人	0.62 人	0.30 人	
			人件費	2,416	2,274	4,862	2,251	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,416	2,274	4,862	2,251			
合計(A+B)	197,056	201,994	203,967	203,680				
市民1人当たりのコスト(円)		2,091	2,164	2,185	2,203			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	文化施設の来館者数	芸術文化普及事業の入場者数	人	目標	/	18,000	18,000	19,000
				実績	15,616	19,489	19,109	
指標化できない成果			達成	/	108.3%	106.2%		

方向	改善	課題及び改善案 市民の文化芸術に対する多様なニーズに的確に応えられる満足度の高い事業を行う等、施設の有効活用と利用者増に努めます。公共施設最適化計画の取り組みについて老朽化、更新時期との兼ね合いから関係部署との連携を図ります。
-----------	-----------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	621	豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-133-51
	基本事業	③ 芭蕉翁頭彰事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	芭蕉祭執行等経費	企画振興部文化交流課	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民並びに俳諧及び俳句愛好者、芭蕉翁を慕う市外の人など		
	目的	俳聖松尾芭蕉の功績を称え遺徳を偲び、俳諧及び俳句の普及啓発、更には芭蕉翁生誕地伊賀市をPRする。		
	内容	<p>(公財)芭蕉翁頭彰会との共催により、芭蕉翁の命日(10月12日)に、市民や全国の俳句愛好家など多数の参加者を迎え、式典や関連行事による第71回「芭蕉祭」を開催しました。芭蕉祭市民合唱団、芭蕉祭フェスティバルバンドによる合唱、演奏が行われました。児童生徒の部の献詠俳句特入選句をつけたバルーンリリースを行い天国の芭蕉さんに届けました。また今年度は児童生徒の部の特選句を短冊にしたため会場及びハイトピアに展示しました。</p> <p>俳文学関係著書の中から優秀研究著書に対し文部科学大臣賞を授与するため、学識経験者から成る文部科学大臣賞選考委員会の運営等授賞のための事務を行いました。当日式典には約500名が出席しました。</p> <p>芭蕉祭式典(献詠俳句特選者授賞、文部科学大臣賞授賞等) 全国俳句大会、野外音楽会、芭蕉祭ポスター原画展、児童生徒の部特選句展示、月見の献立懇親会 各種芭蕉祭協賛事業 文部科学大臣賞選考委員会の開催等授賞著書選考事務</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		報酬	320,000円	文部科学大臣賞選考委員会委員報酬 委員長80,000円、委員240,000円
		報償費	20,000円	文部科学大臣賞選考対象著書目録等作成謝礼
		委託料	9,010,180円	芭蕉祭式典会場設営撤去等業務委託料 (有限会社ステージコラボレーションアイジーイー) 芭蕉祭バルーンリリース委託料(中部アド株式会社) 25,380円 芭蕉祭運営業務委託料((公財)芭蕉翁頭彰会) 7,840,000円
		その他事務経費	315,120円	旅費、消耗品費、燃料費、役務費等
		計	9,665,300円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 芭蕉翁頭彰事業基金利子3,430千円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	3,410	3,803	3,430	3,620	
			一般財源	6,141	5,772	6,235	16,553	
	合計(A)	9,551	9,575	9,665	20,173			
	人件費	正規職員	業務量	0.63 人	0.63 人	0.53 人	0.60 人	
			人件費	4,909	4,940	4,156	4,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.10 人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		4,909	4,940	4,156	4,501			
合計(A+B)	14,460	14,515	13,821	24,674				
市民1人当たりのコスト(円)			154	156	149	267		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	芭蕉祭献詠俳句応募数	一般・児童・生徒の部献詠俳句応募数	句	目標	/	40,000	40,000	40,000
				実績	39,291	38,571	38,118	
指標化できない成果			達成	/	96.4%	95.3%		

方向	継続	課題及び改善案 芭蕉翁頭彰及び俳句を市内外へ、また、次世代への継承を行うために、芭蕉翁の偉大さを知らしめ、俳句啓発につながるよう、式典及び関連事業の見直しを検討する必要があります。また、教育委員会との連携を深めます。 また、芭蕉祭を機に市外からも伊賀市へお越しいただける工夫を検討します。
-----------	-----------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-133-52
	基本事業	① 文化・芸術振興事業		
	事務事業名	しぐれ忌執行等経費	担当部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
				評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対 象	市民及び俳諧及び俳句愛好者、芭蕉翁を慕う市外の人など		
	目 的	俳聖松尾芭蕉の功績を称え、遺徳を偲び、俳諧・俳句の普及啓発、さらには生誕地伊賀市をPRする。		
	内 容	<p>公益財団法人芭蕉翁顕彰会との共催、柘植地域の山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会の協賛により、芭蕉翁の旧暦の命日に当たる11月12日に柘植町の萬壽寺で式典、記念講演会などを開催しました。</p> <p>式典(合唱「芭蕉讃歌」、顕彰のことば等) 記念講演会 講師 近江の文学研究家 猪飼由利子さん「近江の芭蕉 ～松尾芭蕉の世界を旅する～」 芭蕉翁献詠俳句特選句の奉納、菊花展示 など</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		委託料	300,000円	しぐれ忌式典業務委託料 (公益財団法人芭蕉翁顕彰会)
		計	300,000円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	300	300	300	0	
	合計(A)	300	300	300	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.03 人	0.03 人	0.05 人	人	
			人件費	234	236	393	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		234	236	393	0			
合計(A+B)	534	536	693	0				
市民1人当たりのコスト(円)		6	6	8	0			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	参加者数	より多くの人がいしぐれ忌に参加することで、芭蕉翁を顕彰することができる。	人	目標	/	150	150	—
				実績	120	120	120	
指標化できない成果			達成	/	80.0%	80.0%		

方向	統合	課題及び改善案 平成30年度から芭蕉祭等委託料へ統合
-----------	-----------	--------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)08芭蕉頭彰費(細目)134芭蕉翁記念館・ 偲翁舎・菘虫庵等管理運営経費	決算書頁
55 - 0		155

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	621 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-134-51
	基本事業	③ 芭蕉翁顕彰事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	芭蕉翁記念館・偲翁舎・菘虫庵等管理運営経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民及び市外からの来訪者		
	目的	芭蕉翁の遺業を顕彰するとともに翁ゆかりの菘虫庵を保存・管理し遺作及び研究著書等を一般の参観に供することによって学芸の振興を図ることを目的とする。		
	内容	<p>指定管理者制度により、芭蕉翁記念館及び菘虫庵を(公財)芭蕉翁顕彰会に委託しました。芭蕉翁記念館は今後新記念館の整備、運営を視野に、平成30年度から直営による運営とすることを(公財)芭蕉翁顕彰会と協議を行い方針を決定しました。偲翁舎は設置目的である迎賓、文化的な会合の利用促進に努めました。俳聖殿は社会福祉法人維雅幸育会に清掃等の業務を委託し、適切な施設の管理運営に努めました。</p> <p>芭蕉翁記念館では、芭蕉翁顕彰の拠点として、年3回の企画展と芭蕉祭特別展を開催、貴重な俳諧関係の史資料を一般の参観に供し、学芸員による展示解説を行うなど芭蕉文学の理解向上に努めました。また、小中学生を対象とした俳句教室や俳句初心者のための入門教室の開催、俳人や研究者などによる芭蕉翁や俳文学に関する連続講座を開催するなど、芭蕉翁顕彰と俳句、俳諧の啓発に努めました。また、菘虫庵では、庵主であり芭蕉の高弟である服部土芳を顕彰する講和会を開催しました。「ライトアップイベントお城のまわり」では芭蕉翁記念館も夜間開放し、俳聖殿とともに事業に協力しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	25,820円	記念館展示に関する指導	25,820円
	委託料	25,353,489円	芭蕉翁記念館及び菘虫庵指定管理料 (公財)芭蕉翁顕彰会	24,025,000円
			俳聖殿清掃及び扉開閉業務等委託料 (社会福祉法人維雅幸育会)	905,000円
			偲翁舎清掃業務委託料((一社)忍者文化協会)	190,944円
			偲翁舎警備業務委託料 他	232,545円
	使用料及び賃借料	3,800,000円	芭蕉翁記念館展示用資料借用料	3,800,000円
	工事請負費	298,080円	芭蕉翁記念館電灯コンセント改修工事 他	298,080円
	その他経費	350,603円	光熱水費、事務用品他	350,603円
	計	29,827,992円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		使用者使用料 42千円
			地方債	0	0	0	0		
			その他	0	0	42	6,289		
			一般財源	29,648	29,778	29,786	17,791		
	合計(A)	29,648	29,778	29,828	24,080				
	人件費	正規職員	業務量	0.61 人	1.50 人	0.84 人	3.00 人		
			人件費	4,753	11,762	6,587	22,503		
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
				人件費					
小計(B)			4,753	11,762	6,587	22,503			
合計(A+B)	34,401	41,540	36,415	46,583					
市民1人当たりのコスト(円)			365	445	391	504			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	利用者数	施設利用者合計	人	目標		20,000	20,000
				実績	19,693	16,971	17,677
指標化できない成果			達成		84.9%	88.4%	

方向	改善	課題及び改善案	芭蕉翁記念館については、新館の整備を見据え、新たな管理運営体制として直営化の方針を出しました。学芸員の採用や円滑な移行について調整しました。より多くの方に来館いただけるよう展示等工夫をしていきます。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)08芭蕉顕彰費(細目)135俳句啓発推進経費	決算書頁
56 - 0		155

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	621	豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-135-51
	基本事業	③ 芭蕉翁顕彰事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	俳句啓発推進経費		企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民及び市外からの来訪者		
	目的	芭蕉翁生誕地の発信や市民が「芭蕉翁」について関心を深め、顕彰の心を醸成するとともに市民の間に俳句づくりに親しみ、楽しさを一層浸透させることに繋げる。		
	内容	<p>芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを目的に季節にあった「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努めました。また、市民の間に俳句を一層浸透させるため、その年度の文部科学大臣賞受賞者による歌枕俳枕講座記念講演会、土芳を偲ぶ俳句会及びしぐれ忌俳句大会を開催しました。</p> <p>歌枕俳枕講座記念講演会参加者数 74人(H28実績95人)、土芳を偲ぶ俳句会参加者数 25人(H28実績29人)、しぐれ忌俳句大会参加者数 105人(H28実績100人)</p> <p>また、いがまち管内の観光施設(芭蕉公園、余野公園、白藤滝等)8箇所に投句箱を設置し、年4回、俳句を回収し選句を行いました。(入選者:延べ28名、投句者延べ196人)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	229,000円	歌枕俳枕講座講師謝礼 119,200円 土芳を偲ぶ俳句会選者謝礼 40,000円 投句箱選句者謝礼 60,000円 投句箱事業入選者記念品 9,800円	
	需用費	248,097円	懸垂幕、リーフレット印刷 他 248,097円	
	委託料	285,000円	しぐれ忌俳句大会運営委託料 285,000円 (しぐれ忌俳句大会実行委員会)	
	使用料及び賃借料	21,650円	土地建物借上料 10,490円 宿泊料 11,160円	
	計	783,747円		

項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	820	859	784	346
	合計(A)	820	859	784	346
人件費	正規職員	業務量 0.21 人	0.25 人	0.26 人	0.20 人
	人件費	1,637	1,961	2,039	1,501
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
	人件費				
	小計(B)	1,637	1,961	2,039	1,501
合計(A+B)	2,457	2,820	2,823	1,847	
市民1人当たりのコスト(円)	27	31	31	20	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歌枕俳枕講座講演会、土芳を偲ぶ俳句会、しぐれ忌俳句大会参加者数	気軽に芭蕉翁や俳句等について理解を深め、俳句に親しむ。	人	目標		250	250
			実績	241	224	204
指標化できない成果		達成		89.6%	81.6%	

方向	改善	課題及び改善案	俳句大会は参加者が固定化している傾向があります。若年層が参加できるよう、運営の方法を検討していきます。土芳を偲ぶ俳句会については、芭蕉祭等委託料に含め、民間の活力を発揮していただくことで協議した。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)08芭蕉顕彰費(細目)919無形文化遺産登録推進経費	決算書頁
57 - 0		157

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	621	豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-919-51
	基本事業	① 文化・芸術振興事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	無形文化遺産登録推進経費		企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	芭蕉翁顕彰・俳句啓発に関わる人及び一般市民		
	目的	ユネスコ無形文化遺産登録推進を通して、俳句の普及啓発を進め、更には芭蕉翁生誕地伊賀市をPRする。		
	内容	<p>俳句の普及啓発を図るため俳句関連4団体と関連自治体等と連携し、4月24日に東京において俳句のユネスコ無形文化遺産登録推進をめざす「ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会」を設立し、俳句啓発を行うとともに芭蕉翁生誕地伊賀市の情報発信も行いました。また、2月5日同推進協議会名誉顧問(EU名誉大統領、元EU大統領、日EU俳句交流大使)をお招きし、これにより俳句のユネスコ無形文化遺産登録への取り組みについて市内外へ向けてPRしました。</p> <p>また、文化庁へ登録に向けた取り組みについて報告を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	32,400円	通訳	
	旅費	423,790円	推進協議会設立総会等旅費	
	需用費	15,265円	事務用品他	
	使用料及び賃借料	44,657円	自動車等借上げ料 ほか	
	負担金、補助及び交付金	220,000円	ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会負担金	20,000円
			ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会特別負担金	200,000円
	計	736,112円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,085	691	736	440	
		合計(A)	1,085	691	736	440	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.62 人	0.60 人	0.31 人	0.40 人	
		人件費	4,831	4,705	2,431	3,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	4,831	4,705	2,431	3,001	
合計(A+B)	5,916	5,396	3,167	3,441			
市民1人当たりのコスト(円)		63	58	34	38		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	連携団体数(個人を含む)	連携して登録推進事業を進める団体または個人数	団体(人)	目標	5	40	40
				実績	2	36	36
指標化できない成果			達成	720.0%	90.0%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>今後の取り組み、進め方について協議会でしっかりと検討していかなければなりません。伊賀市の役割としては、さらに多くの自治体に賛同していただくよう呼びかけを行います。芭蕉翁の生誕地として市民への周知啓発をしっかり行う必要があるため、情報発信の場や方法を検討します。</p>
----	----	---------	---

基本情報	コード	724	名称	情報化による効率的な行政運営の実現	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-137-51	
	基本事業	①	行政事務の情報化の推進		担当部署	部・課名等	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625
	事務事業名		電算機維持管理経費						

事務事業の概要	対象	情報システム機器の安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市で運用している情報システムを安定稼働させる		
	内容	住民記録に関連する業務システム(基幹系)及び基幹系サブシステムの機器保守、運用管理等を行いました。 システムサーバー機器の定期保守、システム障害発生時の緊急対応を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	35,821,008円	データ分散保管委託料 246,672円 ITコーディネータ業務委託料 4,402,404円 空調設備保守点検業務委託料 289,440円 電算機保守点検委託料 5,385,852円 電算処理等委託料 604,800円 システム保守委託料 24,891,840円	
	使用料及び賃借料 その他経費	8,315,018円 2,149,203円	電算機借上料 <small>旅費、消耗品費、電算機器購入費、地方自治情報センター負担金等</small>	
	計	46,285,229円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	44,375	41,423	46,285	6,790		
	合計(A)	44,375	41,423	46,285	6,790		
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	3,117	3,137	3,137	3,001	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,117	3,137	3,137	3,001		
	合計(A+B)	47,492	44,560	49,422	9,791		
	市民1人当たりのコスト(円)	504	478	530	106		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標			
	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼働にかかものため		達成			

方向	継続	課題及び改善案	
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	724	情報化による効率的な行政運営の実現	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-138-02
	基本事業	① 行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	ホームページ管理経費		企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先 課長 越村 憲一 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	伊賀市ホームページシステムの安定稼働		
	目的	伊賀市のホームページシステムを安定稼働させる		
	内容	迅速な情報提供を可能とするため、システムの保守も含めたホームページ配信サービスの使用許諾を受けて、ウェブアクセシビリティに対応したホームページ(高齢者や障がいのある人であっても、アクセスした誰もが情報を共有できるホームページ)として運用を行った。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	使用料及び賃貸料	2,764,800円	ホームページ配信サービス使用許諾	2,764,800円
	計	2,764,800円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	19,325	2,765	2,765	2,765	
		合計(A)	19,325	2,765	2,765	2,765	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.87 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	6,779	3,137	3,137	3,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	6,779	3,137	3,137	3,001	
合計(A+B)	26,104	5,902	5,902	5,766			
市民1人当たりのコスト(円)		277	64	64	63		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標			目標			
			実績			
	指標化できない成果	市ホームページの安定稼働が目的のため	達成			

方向	継続	課題及び改善案	伊賀市ホームページのすべての画面で多言語対応や文字サイズの拡大機能、音声読み上げシステムの継続など誰にでも利用し易いホームページとして、今後もアクセシビリティの向上と情報発信力の強化を図ります。
----	----	---------	---

基本情報	コード	712	名称	理解と共感につながる市政情報の共有化	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-138-04	
	基本事業	②	広報活動の充実		担当部署	部・課名等	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9636
	事務事業名		情報公開、個人情報保護推進経費						

事務事業の概要	対象	情報公開・個人情報開示請求者		
	目的	市民の知る権利を保障し、市政への市民参加の促進、個人の権利利益を守る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市情報公開条例による行政情報の公開と、伊賀市個人情報保護条例による個人情報の開示により、種々の情報提供を行い、市民の知る権利を保障するとともに、市民と市との情報共有によって市政への参加を推進しました。 (情報公開請求件数563件、公開386件、部分公開123件、非公開3件、不存在33件、取り下げ18件。公開率99.4%) (個人情報開示請求件数16件、開示8件、部分開示8件、公開率100%) 高度情報化社会にふさわしい個人情報の的確な取り扱いによる、公平で信頼される市政運営のため、適正な運用を図りました。 審査請求や個人情報のオンライン結合による提供について、審査会を開催し、答申を受けました。 各部門で情報公開にかかる再認識を図るため、新任管理職研修並びに担当者研修を行いました。(2回、47人出席) 個人情報保護法の改正施行に伴い、各所属の所属長・主査以上職員を対象にマイナンバー・個人情報取扱事務研修会を開催しました。(2回、156人) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	72,000円	伊賀市情報公開・個人情報保護審査会委員報酬	
	謝礼	30,000円	情報公開研修会講師謝金	
	その他事務経費	98,074円	旅費・消耗品費ほか	
	計	200,074円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	9	10	9	0
		一般財源	329	243	191	264
		合計(A)	338	253	200	264
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.54 人	0.54 人	0.54 人	0.54 人
		人件費	4,208	4,235	4,235	4,051
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	4,208	4,235	4,235	4,051
合計(A+B)	4,546	4,488	4,435	4,315		
市民1人当たりのコスト(円)		49	49	48	47	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	情報公開等請求件数		件	目標		700	700	700
				実績	690	498	563	
指標化できない成果			達成		71.1%	80.4%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>これまで以上に審査の迅速化が求められるところであるが、情報公開請求及び個人情報開示請求に対する決定の判断をするにあたり、困難な事案が増えてきています。</p> <p>研修において、具体例を交えた実践的な制度説明を行うとともに、実際の公開請求等の受付時には、担当課等に対し、公開の可否を判断する際の考え方、参考事例等を積極的に提示していきます。</p>
----	----	---------	--

基本情報	コード	712 理解と共感につながる市政情報の共有化	事業期間	平成 16 年度～平成 29 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-138-51
	基本事業	② 広報活動の充実	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先	
	事務事業名	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業		企画振興部広聴情報課	課長 越村 憲一 0595-22-9636	

事務事業の概要	対象	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業を行った第三セクター法人				
	目的	地域に密着した映像情報等を市民に提供することができ、情報共有と情報格差の是正を図ることができる。				
	内容	旧青山町における既設ケーブルテレビ伝送路の一部は450MHz仕様であったが、それらを設備改修により広帯域化・光化を行い、周辺地域(770MHz仕様)との設備仕様格差を是正し、ケーブルテレビの高度化対応と併せ高信頼度の設備環境を整備しました。これに係る借入金に対し(株)アドバンスコープに対する補助金を交付しました。				
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要		
	負担金補助及び交付金		7,632,489円	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業 借入金利子補給補助金		
	計		7,632,489円			

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	0	0	0	0	
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	8,381	7,633	7,632	0	
	合計(A)	8,381	7,633	7,632	0		
	人件費	正規職員	業務量 0.01 人	0.01 人	0.01 人	人	
		人件費	78	79	79	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
小計(B)		78	79	79	0		
合計(A+B)		8,459	7,712	7,711	0		
市民1人当たりのコスト(円)		90	83	83	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					目標			
					実績			
	指標化できない成果			達成				

方向	完了	課題及び改善案 契約に基づく債務であるため、平成29年度で終了。
-----------	-----------	-------------------------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
		712	理解と共感につながる市政情報の共有化	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-139-01
	基本事業	②	広報活動の充実		
	事務事業名	ケーブルテレビ加入促進事業	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
				企画振興部広聴情報課	課長 越村 憲一 0595-22-9636

事務事業の概要	対象	一定の条件に該当する住民税の所得割が非課税である世帯			
	目的	ケーブルテレビ維持管理費を軽減しケーブルテレビによる行政情報及び防災情報の提供と情報格差を是正する。			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・該当世帯のケーブルテレビ維持管理費(月額515円)又は月額利用料金の内515円を、ケーブルテレビ会社が加入者から徴収せず、市がケーブルテレビ会社(2社)へ補償しました。 ・広報いが市6月1日号で維持管理費軽減制度と現況届について広報し、ケーブルテレビ加入の促進を図りました。 ・該当世帯の申請を随時受け付けました。 ・軽減対象世帯に対し、年1回の現況届の提出を義務付け、該当・非該当の決定を行いました。 			
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
		補償、補填及び賠償金	7,653,930円	ケーブルテレビ維持管理費軽減補償金	
		その他事務経費	54,932円		
		計	7,708,862円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	7,773	7,682	7,709	8,003	
	合計(A)	7,773	7,682	7,709	8,003			
	人件費	正規職員	業務量	0.51 人	0.51 人	0.51 人	0.51 人	
			人件費	3,974	3,999	3,999	3,826	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		3,974	3,999	3,999	3,826			
合計(A+B)	11,747	11,681	11,708	11,829				
市民1人当たりのコスト(円)		125	126	126	128			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ケーブルテレビ加入率		%	目標	/	68	68	68
				実績	68.1	68.3	68.6	/
指標化できない成果			達成	/	100.4%	100.9%	/	

方向	継続	課題及び改善案 対象世帯すべてが減免申請を提出していない可能性があることや、高齢化に伴いこれからも新しく対象となる世帯が増えることが考えられるので、引き続き広報紙・行政チャンネル等での制度の周知を行います。
-----------	-----------	---

基本情報	コード	724	名称	情報化による効率的な行政運営の実現	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-140-51
	基本事業	①	行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625
	事務事業名	ネットワークシステム管理経費						

事務事業の概要	対象	情報システムネットワークの安定稼働のための保守						
	目的	伊賀市で運用している情報システムを安定稼働させる						
	内容	基幹系・情報系システムの常時的確な作動を確保するための、ネットワーク構成機器及びサーバの通信障害の監視・保守及びシステム障害発生時の緊急対応を行いました。						
事業に要した主な経費など	経費		金額		摘要			
	委託料	21,004,474円		電算機保守点検委託料 4,350,564円 電算処理等委託料 67,500円 システム保守委託料 8,824,798円 通信線保守委託料 7,761,612円				
	使用料及び賃借料	34,207,992円		電算機借上料 7,128,375円 回線使用料 27,079,617円				
	計	55,212,466円						

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	58,913	54,969	55,212	72,428		
		合計(A)	58,913	54,969	55,212	72,428		
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.90 人	0.90 人	0.90 人	1.00 人		
		人件費	7,012	7,057	7,057	7,501		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費						
		小計(B)	7,012	7,057	7,057	7,501		
合計(A+B)	65,925	62,026	62,269	79,929				
市民1人当たりのコスト(円)		700	665	667	865			

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼働にかかるもののため	目標			
			実績			
			達成			

方向	継続	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	724 情報化による効率的な行政運営の実現	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-140-52
	基本事業	① 行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先	
	事務事業名	グループウェアシステム管理経費		企画振興部広聴情報課	課長 越村 憲一 0595-22-9625	

事務事業の概要	対象	グループウェアシステムの安定稼働のための保守				
	目的	伊賀市のグループウェアシステムを安定稼働させる				
	内容	伊賀市が運用しているグループウェアシステムの常時的確な作動を確保するための、情報系端末及びグループウェアシステム機器等の保守、メンテナンス作業を行いました。				
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	1,536,840円	修繕料			
	委託料	5,985,522円	電算機保守点検委託料 4,342,896円			
	使用料及び賃借料	27,354,296円	システム保守委託料 1,642,626円			
			電算機借上料			
	計	34,876,658円				

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) H29年度グループウェアシステムは内部情報システムに集約しクラウド化したため、H30年度より運用費を「総合文書管理システム管理経費」で支出する。H30年度は情報系端末更新経費及び情報系サーバ更新経費を計上。
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	43,792	38,657	34,877	81,498	
	合計(A)	43,792	38,657	34,877	81,498			
	人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	1.00 人	
			人件費	1,948	1,961	1,961	7,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		1,948	1,961	1,961	7,501			
合計(A+B)	45,740	40,618	36,838	88,999				
市民1人当たりのコスト(円)		486	436	395	963			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼働にかかるもののため		達成				

方向	継続	課題及び改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	724	情報化による効率的な行政運営の実現	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-140-53
	基本事業	① 行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	総合文書管理システム管理経費	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	総合文書管理システムの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市の総合文書管理システムを安定稼働させる		
	内容	伊賀市が運用している総合文書管理システム、財務会計システム、サービス管理システム及び臨時職員管理システムのサーバ及びソフトウェア等の保守、メンテナンス作業を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	17,516,055円	電算機保守点検委託料 システム保守委託料	2,095,815円 15,420,240円
	使用料及び賃借料	2,659,392円	電算機借上料	
	計	20,175,447円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	23,486	20,615	20,175	63,025		
	合計(A)	23,486	20,615	20,175	63,025		
人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,948	1,961	1,961	1,876	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,948	1,961	1,961	1,876		
	合計(A+B)	25,434	22,576	22,136	64,901		
	市民1人当たりのコスト(円)	270	242	238	702		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標			
	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼働にかかるもののため		達成			

方向	継続	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	724	名称	情報化による効率的な行政運営の実現	事業期間	平成 16 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-140-54	
	基本事業	①	行政事務の情報化の推進		担当部署	部・課名等	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625
	事務事業名		総合行政ネットワークシステム管理経費						

事務事業の概要	対象	LGWANの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市のLGWAN接続機器を安定稼働させる		
	内容	伊賀市に導入している総合行政ネットワークシステム(LGWAN)接続機器の保守及びメンテナンス作業を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	559,224円	電算機保守点検委託料	
	使用料及び賃借料	580,344円	電算機借上料	
	計	1,139,568円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,140	1,141	1,140	1,141	
	合計(A)	1,140	1,141	1,140	1,141		
人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,559	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	1,559	1,569	1,569	1,501	
合計(A+B)	2,699	2,710	2,709	2,642			
市民1人当たりのコスト(円)		29	30	30	29		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼働が目的のため	目標			
			実績			
			達成			

方向	継続	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
		724	情報化による効率的な行政運営の実現	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-140-55
	基本事業	①	行政事務の情報化の推進		
	事務事業名	セキュリティ対策管理経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
				企画振興部広聴情報課	課長 越村 憲一 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	セキュリティポリシーの維持のための運用			
	目的	伊賀市セキュリティポリシーを遵守するための対策を行う。			
	内容	伊賀市が保有する情報資産を管理し、重要情報流出を防止するための、セキュリティ確保のためのシステム及び機器の保守及び紙文書の廃棄処理を行いました。また、総務省から発表された「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」に伴い、三重県が整備した三重県自治体情報セキュリティクラウドの利用を開始しました。			
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
		委託料	8,762,066円	文書廃棄業務委託料 459,080円 電算機保守点検委託料 4,444,146円 システム保守委託料 3,858,840円	
		使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	239,328円 2,073,146円	電算機借上料 三重県自治体情報セキュリティクラウド負担金	
		計	11,074,540円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	51,754	11,803	11,075	12,224	
	合計(A)	51,754	11,803	11,075	12,224			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費	2,338	2,353	2,353	2,251	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,338	2,353	2,353	2,251			
合計(A+B)	54,092	14,156	13,428	14,475				
市民1人当たりのコスト(円)		574	152	144	157			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果	市内部のシステム運用に係るもののため		達成				

方向	継続	課題及び改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	724	情報化による効率的な行政運営の実現	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-140-58
	基本事業	① 行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	情報システム更新経費	企画振興部広聴情報課	課長 越村 憲一 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	サポート保守が終了する情報システム機器の更新		
	目的	伊賀市で運用している情報システムのうち、サポート保守が終了する機器の更新を行う。		
	内容	導入から年数が経過し、機器の老朽化による稼働に支障が出るものや、機器の保守サポートが停止するものを対象として機器の更新を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	85,432,050円	ネットワークシステム改修委託料 10,523,250円 次期情報系システム構築業務委託料 74,908,800円	
	使用料及び賃借料	3,550,608円	電算機借上料	
	計	88,982,658円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 科目見直しにより、H30年度からは各事業経費から支出する。
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	13,072	80,798	88,983	0	
	合計(A)	13,072	80,798	88,983	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.00 人	
			人件費	7,402	7,449	7,449	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		7,402	7,449	7,449	0			
合計(A+B)	20,474	88,247	96,432	0				
市民1人当たりのコスト(円)			218	946	1,033	0		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果	市内部のシステム機器更新にかかる経費のため		達成				

方向	廃止	課題及び改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	724	情報化による効率的な行政運営の実現	平成 26 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-340-01
	基本事業	① 行政事務の情報化の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	社会保障・税番号制度導入経費	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	番号法に関する既存システムの改修		
	目的	特定個人情報の他自治体との情報連携を適正に行う		
	内容	<p>マイナンバー法に基づく「社会保障・税番号制度」の導入準備として伊賀市の既存システムの改修を行いました。</p> <p>また、関係省庁開催の番号制度説明会へ出席し、番号制度に関する情報収集、該当各課への情報提供を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	20,099,880円	福祉総合システム改修委託料	1,439,640円
			住基システム改修委託料	10,710,900円
			団体内統合宛名システム開発委託料	2,430,000円
			電算機保守点検委託料	813,888円
			電算処理等委託料	896,400円
			システム保守委託料	3,809,052円
	使用料及び賃借料	882,144円	電算機借上料	860,544円
			システム等使用料	21,600円
	負担金、補助及び交付金	1,926,000円	中間サーバ利用負担金	
	計	22,908,024円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	10,495	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	31,896	7,628	16,106	8,210		
	合計(A)	42,391	7,628	22,908	8,210		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,896	3,921	3,921	3,751	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,896	3,921	3,921	3,751		
	合計(A+B)	46,287	11,549	26,829	11,961		
	市民1人当たりのコスト(円)	491	124	288	130		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					目標		
				実績			
	指標化できない成果	法律による改修等のため		達成			

方向	継続	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	724	名称	情報化による効率的な行政運営の実現	事業期間	平成 24 年度～平成 32 年度	会計-款-項-目-細目-細々目	01-02-01-09-654-51	
	基本事業	①	行政事務の情報化の推進		担当部署	部・課名等	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 越村 憲一 0595-22-9625
	事務事業名		基幹系情報システム最適化経費						

事務事業の概要	対象	平成24年度の基幹系情報システム更新に伴う経費		
	目的	平成24年度の基幹系情報システム更新に伴う経費の支払い		
	内容	平成24年度の基幹系情報システムオープン化に伴う構築・保守及び賃貸借経費について、平成25年4月より5年間の立替払いを行っており、平成29年度分を支払いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	89,202,168円	電算処理等委託料 基幹系情報システム最適化委託料 システム保守委託料	7,045,830円 56,148,660円 26,007,678円
	使用料及び賃借料	22,637,178円	電算機借上料	
	計	111,839,346円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	119,602	128,834	111,839	132,130		
	合計(A)	119,602	128,834	111,839	132,130		
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,169	1,177	1,177	1,126	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,169	1,177	1,177	1,126		
	合計(A+B)	120,771	130,011	113,016	133,256		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,282	1,393	1,211	1,442		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	市内部の情報システムの安定稼動にかかるもののため		達成			

方向	継続	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
71 - 0		159

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	641	住民自治活動が、活発に行われる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-10-141-01
	基本事業	① 住民自治促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	地区市民センター維持管理経費		企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先 課長 福岡 秀明 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	地区市民センター																			
	目的	地区市民センターの運営を行う。																			
	内容	<p>地区市民センターの運営管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野21センター・伊賀3センター・島ヶ原1センター・阿山4センター・大山田3センター・青山6センター (嘱託職員の雇用) ・上野(所長21人、主事21人、事務員21人) ・伊賀(所長3人、事務員3人) ・島ヶ原(所長1人、事務員1人) ・阿山(所長4人、事務員4人) ・大山田(所長3人、事務員3人) ・青山(所長6人、事務員6人) 																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>169,648,195円</td> <td>地区市民センター嘱託職員報酬</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>24,068,265円</td> <td>地区市民センター嘱託職員保険料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>6,000,055円</td> <td>保守点検委託料 等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>39,210,162円</td> <td>使用料及び賃借料 需用費 等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>238,926,677円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	169,648,195円	地区市民センター嘱託職員報酬	共済費	24,068,265円	地区市民センター嘱託職員保険料	委託料	6,000,055円	保守点検委託料 等	その他	39,210,162円	使用料及び賃借料 需用費 等	計	238,926,677円			
経費	金額	摘要																			
報酬	169,648,195円	地区市民センター嘱託職員報酬																			
共済費	24,068,265円	地区市民センター嘱託職員保険料																			
委託料	6,000,055円	保守点検委託料 等																			
その他	39,210,162円	使用料及び賃借料 需用費 等																			
計	238,926,677円																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	529	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	627	730	909	812		
	一般財源	235,218	234,849	238,018	236,141		
	合計(A)	236,374	235,579	238,927	236,953		
人件費	正規職員	業務量	2.07 人	2.07 人	1.71 人	1.71 人	
		人件費	16,128	16,231	13,409	12,827	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	16,128	16,231	13,409	12,827		
	合計(A+B)	252,502	251,810	252,336	249,780		
	市民1人当たりのコスト(円)	2,679	2,698	2,703	2,702		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	利用延べ人数	地区市民センター利用延べ人数	人	目標		192,000	200,000	200,000
				実績	202,863	222,162	201,275	
指標化できない成果			達成		115.7%	100.6%		

方向	改善	課題及び改善案	地区市民センターの今後のあり方等について、支所・地区市民センターの機能の見直しも含め、検討部会において検討を行います。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
72 - 0		159

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	631 市民活動やボランティア活動が、活発に行われる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-10-141-02
	基本事業	① 市民活動支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	ゆめぼりすセンター維持管理経費	企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先	課長 福岡 秀明 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	住民自治活動、NPO活動やボランティア活動などを行う団体、個人や貸館の利用者		
	目的	ゆめぼりすセンター並びに市民活動支援センターの管理・運営を行う。		
	内容	ゆめぼりすセンター並びに市民活動支援センターの運営を行いました。 【活動実績】 ①施設利用 貸室・・・2,481件 情報交流スペース・・・276件 印刷機・・・1,027件 ②中間支援業務 相談件数・・・247件 ③情報発信 ブログ発信・・・519件 閲覧件数・・・38,389件 ④研修会 広報研修会・・・2回開催		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,858,800円	市民活動支援センター嘱託職員報酬	
	賃金	4,922,350円	ゆめぼりすセンター臨時職員賃金	
	需用費	5,963,267円	光熱水費等	
	委託料	3,088,129円	エレベーター保守点検等施設保守点検業務委託料	
	その他	1,132,397円	施設管理備品等	
	計	16,964,943円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	17	30	5,135	4,830	
			一般財源	13,236	13,907	11,830	14,005	
	合計(A)	13,253	13,937	16,965	18,835			
	人件費	正規職員	業務量	0.97 人	0.97 人	0.85 人	0.85 人	
			人件費	7,558	7,606	6,665	6,376	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		7,558	7,606	6,665	6,376			
合計(A+B)	20,811	21,543	23,630	25,211				
市民1人当たりのコスト(円)			221	231	254	273		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	市民活動団体登録	市民活動を行う団体の登録件数	件	目標		310	320
				実績	280	312	333
指標化できない成果			達成		100.6%	104.1%	

方向	充実	課題及び改善案	施設は多くの市民に利用されていますが、市民活動支援センターの情報発信やセンターの充実を図り、市民活動団体のバックアップを引き続き行います。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
73 - 0		159

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	641 住民自治活動が、活発に行われる	平成 17 年度～平成 年度	01-02-01-10-141-52
	基本事業	① 住民自治促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	地区市民センター施設改修事業		上野支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 三枝 澄生 0595-22-9633

事務事業の概要	対象	自治活動の拠点である地区市民センター											
	目的	施設が末永く快適に利用してもらえるよう、適正に整備を行う。											
	内容	<p>地区市民センター整備計画に基づき、花之木地区市民センターの耐震補強及び共用トイレ改修工事と依那古地区市民センターの共用トイレ改修工事、博要地区市民センターの屋上防水・外壁塗装及び共用トイレ改修工事と博要地区市民センターに係る設計業務委託をを実施する。</p> <p>花之木地区市民センター 耐震補強及び共用トイレ改修工事 工期平成29年6月19日～11月15日 フジ建設(株)</p> <p>依那古地区市民センター 共用トイレ改修工事 工期平成29年10月23日～平成30年2月28日 福岡設備工業(株)</p> <p>博要地区市民センター 大規模改修設計業務委託 履行期間平成29年6月12日～8月25日 三浦設計事務所</p> <p>博要地区市民センター 大規模改修工事 工期平成29年10月23日～平成30年2月19日 宮本建設(株)</p>											
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>46,845,000円</td> <td>①花之木耐震補強及び共用トイレ改修 フジ建設(株) 16,681,680円 ②依那古共用トイレ改修 福岡設備工業(株) 13,044,240円 ③博要大規模改修 宮本建設(株) 17,119,080円</td> </tr> <tr> <td>設計業務委託料</td> <td>907,200円</td> <td>博要大規模改修工事設計業務 三浦設計事務所 907,200円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>47,752,200円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	46,845,000円	①花之木耐震補強及び共用トイレ改修 フジ建設(株) 16,681,680円 ②依那古共用トイレ改修 福岡設備工業(株) 13,044,240円 ③博要大規模改修 宮本建設(株) 17,119,080円	設計業務委託料	907,200円	博要大規模改修工事設計業務 三浦設計事務所 907,200円	計	47,752,200円	
経費	金額	摘要											
工事請負費	46,845,000円	①花之木耐震補強及び共用トイレ改修 フジ建設(株) 16,681,680円 ②依那古共用トイレ改修 福岡設備工業(株) 13,044,240円 ③博要大規模改修 宮本建設(株) 17,119,080円											
設計業務委託料	907,200円	博要大規模改修工事設計業務 三浦設計事務所 907,200円											
計	47,752,200円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	19,900	53,600	46,100	45,600	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,831	1,824	1,652	3,138	
		合計(A)	22,731	55,424	47,752	48,738	
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.40 人	0.30 人	0.30 人	
		人件費	3,896	3,137	2,353	2,251	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	3,896	3,137	2,353	2,251	
		合計(A+B)	26,627	58,561	50,105	50,989	
		市民1人当たりのコスト(円)	283	628	537	552	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	進捗率	整備の進捗率	%	目標		100	100	100
				実績		100	100	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	公共施設最適化計画及び地区市民センター整備計画に基づき、施設改修事業を進めていく。平成31年度まで年次計画あり。改修工事については、耐震補強、防水、共用トイレ設置が中心となるが、学校の廃校に伴う校舎利用法などの検討により、地区市民センターとしての利用が案として上がっており、地区要望も提出され検討の必要がある。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)13中長期在留者住居地届出等事務費 (細目)664中長期在留者住居地届出等事務経費	決算書頁
74 - 0		161

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	999 施策なし	平成 24 年度～平成 32 年度	01-02-01-13-664-51
	基本事業	基本事業なし		
	事務事業名	中長期在留者住居地届出等事務経費	担当部署	部・課名等 人権生活環境部住民課
				評価責任者・連絡先 課長 西口 紀子 0595-22-9645

事務事業の概要	対象	中長期在留者、特別永住者		
	目的	住民基本台帳法等関係法令に基づき、外国人住民の居住関係や身分関係を明確に把握し、適正な管理を行う。		
	内容	国際交流の活発化に伴い、本市に在留する外国人の在留形態や在留活動はますます複雑化、多様化しており、各国の法律知識の習得・研修に励みながら、届出事務の効率化と適正な処理に努めました。住民基本台帳法及び在留管理制度等に基づき、中長期在留者・特別永住者の住居地変更等事務、特別永住者証明事務、法務省との情報連携により外国人住民の居住関係を公証する事務を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		報酬	1,796,544円	通訳業務嘱託職員報酬
		共済費	481,879円	通訳業務嘱託職員保険料 265,201円
		賃金	1,507,960円	事務補助員保険料 216,678円
		需用費	105,853円	事務補助員賃金
				消耗品費(トナー、コピー用紙等)
		計	3,892,236円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 特定財源 中長期在留者居住地届出等事務委託金
			国県支出金	1,208	1,366	1,335	1,410	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	2,338	2,317	2,557	2,474	
	合計(A)	3,546	3,683	3,892	3,884			
	人件費	正規職員	業務量	0.32 人	0.32 人	0.32 人	0.32 人	
			人件費	2,494	2,510	2,510	2,401	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,494	2,510	2,510	2,401			
合計(A+B)	6,040	6,193	6,402	6,285				
市民1人当たりのコスト(円)			65	67	69	68		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果			達成			

方向	課題及び改善案	本市に在留する外国人の人口増加、在留形態や在留活動はますます複雑化、多様化しており、各国の法律知識の習得・研修に励みながら、更なる届出事務の効率化と適正な処理が必要になります。
----	---------	--

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)14自治振興費(細目)145自治振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	641 住民自治活動が、活発に行われる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-145-01
	基本事業	① 住民自治促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	自治振興経費		企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先 課長 福岡 秀明 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	住民自治協議会、自治会													
	目的	身近な住民自治活動の拠点施設である地区公民館について新築・増改築等を行う													
	内容	<p>・伊賀市公民館建設費補助金 1,572千円 地域コミュニティの拠点である地区公民館等の増改築・バリアフリーに対して補助金を交付しました。 増改築：河合区(1,215千円) バリアフリー：東谷区(198千円)、下高尾区(159千円)</p> <p>・コミュニティ助成金 29,100千円 宝くじ普及啓発の一環として(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し助成を行いました。 予算額(一般コミュニティ)： 友生地区住民自治協議会(2,500千円) 上津地区住民自治協議会(2,400千円) 河合地域住民自治協議会(2,300千円) 法花区(1,900千円) 大字東湯舟区(2,500千円) 下川原区(2,500千円) (コミュニティセンター)： 岡鼻区(15,000千円)</p>													
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>1,572,000円</td> <td>地区公民館建設費補助金 増改築：1件 バリアフリー：2件</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>733,500円</td> <td>コミュニティ助成金 広報等配布事務委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,405,500円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	1,572,000円	地区公民館建設費補助金 増改築：1件 バリアフリー：2件	委託料	733,500円	コミュニティ助成金 広報等配布事務委託料	計	31,405,500円			
経費	金額	摘要													
負担金、補助及び交付金	1,572,000円	地区公民館建設費補助金 増改築：1件 バリアフリー：2件													
委託料	733,500円	コミュニティ助成金 広報等配布事務委託料													
計	31,405,500円														

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	20,700	0	29,100	0		
	一般財源	8,553	4,150	2,306	4,150		
	合計(A)	29,253	4,150	31,406	4,150		
人件費	正規職員	業務量	1.45 人	1.45 人	0.93 人	0.93 人	
		人件費	11,297	11,370	7,293	6,976	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	11,297	11,370	7,293	6,976		
合計(A+B)	40,550	15,520	38,699	11,126			
市民1人当たりのコスト(円)			431	167	415	121	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	補助金交付件数		地域の活動拠点や備品等の整備を支援することで、地域活性化につながる。	件	目標		5	10
					実績	7	14	10
指標化できない成果			達成		280.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	毎年、多くの地域から要望が上がっており、地域ニーズの高い事業であるため、今後も継続して実施していきます。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	641	住民自治活動が、活発に行われる	平成 17 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-146-52
	基本事業	① 住民自治促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	住民自治協議会推進経費	企画振興部地域づくり推進課	課長 福岡 秀明 0595-22-9639	

事務事業の概要	対象	住民自治協議会		
	目的	地域まちづくり計画に基づく事業を実施していくための財政支援等を行う。		
	内容	<p>住民自治協議会の設置・運営、地域まちづくり計画の策定・実行などに関し、助言や情報提供・財政支援(地域包括交付金)などを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括交付金 <p>地域まちづくり計画に基づき推進する事業や活動などを支援するための交付金であり、住民自治協議会へ交付することで地域の実情に即した優先課題に主体的に取り組むことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進事業交付金 <p>①計画策定交付金・・・女性の活躍推進に向けた取り組み内容を地域まちづくり計画に位置付けた住民自治協議会に対し、交付金を交付しました。(10件)</p> <p>②事業実施交付金・・・地域まちづくり計画に位置付けた女性の活躍推進に向けた事業を実施した住民自治協議会に対し、交付金を交付しました。(14件)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	175,076,000円	地域包括交付金 等 (上野)103,316千円、(伊賀)16,822千円 (島ヶ原)4,479千円、(阿山)15,913千円 (大山田)12,385千円、(青山)22,161千円	
	その他	1,466,560円	報償費 等	
	計	176,542,560円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		0	0	0		0
			地方債		0	0	0		0
			その他		150	0	0		174,417
			一般財源		175,089	179,699	176,543		6,306
	合計(A)		175,239	179,699	176,543	180,723			
	人件費	正規職員	業務量	3.67 人	3.67 人	2.94 人	2.94 人		
			人件費	28,593	28,777	23,053	22,053		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		28,593	28,777	23,053	22,053				
合計(A+B)		203,832	208,476	199,596	202,776				
市民1人当たりのコスト(円)		2,163	2,233	2,138	2,194				

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	地域まちづくり計画策定数	協議会が設置され、その活動のもととなる計画が地域まちづくり計画であるため、指標とした。	地域	目標	/	39	39	39
				実績	38	38	39	
指標化できない成果			達成	/	97.4%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 平成28年度から地域包括交付金の算定指標を見直し、住民自治協議会の体制づくりや人材育成等を支援しています。また、地域まちづくり計画の進行管理を行い、地域包括交付金の見える化を行うとともにヒアリングも実施していきます。
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	631	市民活動やボランティア活動が、活発に行われる	平成 19 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-147-52
	基本事業	① 市民活動支援事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	地域活動支援事業	企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先 課長 福岡 秀明 0595-22-9639	

事務事業の概要	対象	市民活動団体(住民自治協議会、NPO、ボランティア団体等)及び活動しようとする市民		
	目的	市民活動(住民自治協議会活動、NPO活動、ボランティア活動等)がより活発になり、地域の課題解決や市民活動への理解を図る。		
	内容	<p>住民自治協議会や市民公益活動を行う団体を対象に、基礎支援・課題発見支援・協働促進支援の各事業に対して、市がその経費の一部を補助する事業を実施しました。 公募提案型事業で、公開審査会を行い採択された団体が、1年間事業に取り組みました。</p> <p>【事業実施件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎支援事業・・・4団体(1,710千円) ・協働促進支援事業・・・1団体(700千円) 		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		負担金、補助及び交付金	2,410,000円	地域活動支援補助金
		報酬	72,000円	地域活動支援事業審査会委員報酬
		その他	131,291円	旅費等
		計	2,613,291円	

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,461	3,864	2,613	4,343	
		合計(A)	3,461	3,864	2,613	4,343	
		人件費					
		正規職員	0.86 人	0.86 人	0.80 人	0.80 人	
		業務量	6,701	6,744	6,273	6,001	
		人件費					
	臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人		
	業務量						
	人件費						
	小計(B)	6,701	6,744	6,273	6,001		
	合計(A+B)	10,162	10,608	8,886	10,344		
	市民1人当たりのコスト(円)	108	114	96	112		

指標名		指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	交付団体数	支援団体数により、市民活動が活発になり地域課題の解決に繋がるため指標とした。	団体	目標	8	5	1
				実績	9	6	5
	指標化できない成果		達成		75.0%	100.0%	

方向	改善	課題及び改善案	平成19年度の制度創設以来、年々申請団体数が減少している。積極的な事業周知を行うとともに、事業内容のあり方についても、検証を行います。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	213 犯罪や消費者被害を未然に防ぐ	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-15-148-51
	基本事業	① 交通安全対策の推進		
	事務事業名	交通安全対策経費	担当部署	部・課名等
			人権生活環境部市民生活課	評価責任者・連絡先
				課長 田中 克典 0595-22-9638

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	交通安全に対する意識、マナーの向上。駅前等の放置自転車撤去等により、歩行者・交通弱者の安全を図る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動、交通安全県民運動期間に合わせ、街頭啓発・啓発用チラシの配付、回覧等啓発運動を実施 ・市内小学校新入学児童・中学校新入学生徒に対し、交通安全パンフレットを配布し、啓発を実施 ・交通安全出前教室を開催(1住民自治協議会 参加者22名) ・高齢ドライバー交通安全研修を実施(1回 参加者16名) ・交通事故相談を実施(8回 14名) ・放置自転車対策として上野丸之内、伊賀神戸駅、伊賀上野駅、桑町駅、青山町駅、伊賀上津駅前自転車等駐車場の管理業務をシルバー人材センターへ委託し、放置自転車等に対する啓発、撤去、保管、返還業務を実施。また、伊賀鉄道各駅、JR伊賀上野駅及び佐那具駅前等において、長期放置自転車等66台を撤去 		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		報償費	16,000円	交通事故相談員謝礼
		需用費	647,089円	交通安全運動啓発物品購入費ほか
		委託料	1,765,501円	自転車等駐車場管理業務委託料 ((公社)シルバー人材センター)
		使用料及び賃借料	2,310,788円	土地建物借上料(駐輪場)
		その他	13,088円	手数料、積立金
		計	4,752,466円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 交通安全対策事業基金繰入金 2,000,000円 交通安全対策事業基金利子 5,648円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	2,009	2,045	2,006	2,024	
			一般財源	2,654	3,178	2,746	3,335	
		合計(A)	4,663	5,223	4,752	5,359		
	人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
			人件費	3,117	3,137	3,137	3,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費	538	541	493	491	
		小計(B)	3,655	3,678	3,630	3,492		
	合計(A+B)	8,318	8,901	8,382	8,851			
市民1人当たりのコスト(円)		89	96	90	96			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	交通事故死者数	交通安全計画では年間2人以下となっている。	人	目標	2	2	2
				実績	3	3	6
指標化できない成果			達成	66.6%	33.3%		

方向	継続	課題及び改善案	住民自治協議会単位で希望をとりまとめ、交通安全出前教室の開催を行う。
			広報車等による市民啓発を行う。 高齢ドライバーを対象とした体験・実践型の交通安全研修を行う。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	622	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	平成 16 年度～平成 29 年度	01-02-01-16-150-01
	基本事業	③ 市史編さん事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	市史編さん事業	総務部総務課	評価責任者・連絡先	課長 前田 康人 0595-22-9601

事務事業の概要	対象	伊賀市の歴史・文化に関心をもち、現在及び将来に伊賀の地域史研究等に取り組む市内外の住民等		
	目的	『伊賀市史』を刊行することにより、伊賀の歴史的特性を発信し、その魅力を広く知っていただきます。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊賀市史 第7巻 年表・索引』を刊行しました。 ・『伊賀市史 正誤表』を作成しました。 ・編さん事業を推進するための各種会議(市史編さん委員会2回、編集委員会3回)を開催し、編さんの基本方針や計画、編集内容及び方法等を検討しました。 ・事業の普及・啓発活動として、『広報いが市』に「市史編さんだより」(4回)を掲載しました。 ・『伊賀市史』の編さんにあたっては、専門的な知識や高い学術的水準が求められることから、専門研究者からなる伊賀市歴史研究会に委託し、編さん作業を進めました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	102,000円	市史編さん委員会委員報酬(のべ17人)	102,000円
	旅費	177,260円	監修者市史編さん委員会出席等	177,260円
	需用費	3,735,898円	消耗品費	455,433円
			燃料費	38,556円
			食糧費	2,880円
			印刷製本費	3,204,900円
			光熱水費	34,129円
	委託料	10,513,400円	専門研究委託料・書籍販売業務委託料	10,513,400円
	計	14,528,558円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		
			地方債	0	0	0	0		
			その他	1,877	601	1,066	60		
			一般財源	17,186	17,169	13,463	0		
	合計(A)	19,063	17,770	14,529	60				
	人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	1.00 人		
			人件費	15,582	15,682	15,682	7,501		
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
				人件費					
小計(B)			15,582	15,682	15,682	7,501			
合計(A+B)	34,645	33,452	30,211	7,561					
市民1人当たりのコスト(円)			368	359	324	82			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	『伊賀市史』各編などの有償・無償配布数	伊賀の歴史的魅力をどの程度発信できたかを『伊賀市史』などの頒布数で数値化しました。	冊	目標	460	170	
				実績	153 (有償123)	863 (有償447)	706 (有償343)
指標化できない成果		達成		187.6%	415.2%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	511 人権に対する正しい知識を習得する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-17-151-51
	基本事業	① 人権啓発の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	人権啓発推進経費	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先	課長 上島 邦彦 0595-47-1286

事務事業の概要	対象	伊賀市民および各種団体		
	目的	市民が人権・同和教育を受ける機会が増え、人権問題への関心が高まり人権意識を高揚する。		
	内容	<p>「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」に基づき、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権が尊重される明るく住みよい社会の実現をめざすとともに、市民等の人権意識の高揚を図るため、各支所と連携してきめ細やかな啓発活動を行います。</p> <p>条例に基づき、第3次伊賀市人権施策総合計画の策定について、昨年度末3月に人権政策審議会へ諮問を行い、5回の庁内会議、及び5回の人権施策審議会の開催をもって、市長に提出された答申を基に、第3次伊賀市人権施策総合計画を策定しました(第3次計画期間:2017～2022年度)。11月21日開催の議員全員協議会へ付議しました。</p> <p>差別をなくす強調月間(11/11～12/10)に市内各地区で人権講演会等を実施し、1,522名の参加がありました。</p> <p>市内285地区で地区別懇談会等を開催し、5,683人の参加があり人権意識の高揚に努めました。</p> <p>人権意識の向上を図るため、市内各地域で開催される講演会や懇談会を支援しました。</p> <p>「差別につながる言葉」「身元調査」「性の多様性」等、人権課題別のパンフレットを作成しました。</p> <p>人権擁護委員協議会や関係団体と連携し、ハイトピア・各支所で毎月特設人権相談を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	306,000円	人権政策審議会委員報酬	
	報償費	2,758,110円	人権講演会講師謝礼等	
	旅費	1,917,946円	研修会参加旅費(公募)等	
	需用費	3,210,571円	消耗品費、印刷製本費等	
	委託料	2,739,586円	地区懇モデル事業等委託料 地域人権啓発活動活性化事業委託料等	
	負担金、補助及び交付金	1,248,000円	人権擁護委員協議会助成金 人権モデル地区活動助成金等	
	その他事務経費	710,398円	役務費、備品購入費等	
	計	12,890,611円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 人権啓発活動委託費(国費再委託)100,000円(補助率:1.0) 人権啓発活動推進事業費補助金(県単補助金)1,009,000円(補助率:0.5)
		直接事業費	国庫支出金	1,370	1,050	1,109	250	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	9,867	13,241	11,782	12,406	
	合計(A)		11,237	14,291	12,891	12,656		
	人件費	正規職員	業務量	3.10 人	3.20 人	3.20 人	3.20 人	
			人件費	24,153	25,092	25,092	24,004	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		24,153	25,092	25,092	24,004			
合計(A+B)		35,390	39,383	37,983	36,660			
市民1人当たりのコスト(円)		376	422	407	397			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	人権問題地区別懇談会参加者数	人権問題について広く市民に啓発し一人でも多くの人に参加してもらう。	人	目標		5,000	5,800
				実績	4,687	5,222	5,683
指標化できない成果		達成		104.4%	107.2%		

方向	継続	課題及び改善案 地区住民の人権意識の向上や、開催手法の工夫等もあり、地区別懇談会参加者数の目標値を達成できた。今後も費用対効果を考え、より効果的に多くの市民に対して人権啓発が出来るよう、啓発手法の改善を行っていく必要がある。
----	----	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)17人権啓発費(細目)151人権啓発推進経費	決算書頁
81 - 0		165

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	511 人権に対する正しい知識を習得する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-17-151-52
	基本事業	① 人権啓発の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	人権フェスティバル開催経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 上島 邦彦 0595-47-1286

事務事業の概要	対象	伊賀市民		
	目的	市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に向けて、学び、考え、行動する。		
	内容	7月9日に「ひゅーまんフェスタ2017」を実施し、市民280人が参加しました。人権講演会、体験イベント、学習イベント、非核平和コーナー、人権啓発パネル・活動紹介パネル展示を通じて、一人ひとりが人権課題(「外国人」「障がい者」)について学び、考える機会となりました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	224,370円	人権講演会、体験講座等講師謝礼	
	旅費	34,094円	講師、手話要約筆記者旅費	
	需用費	186,550円	消耗品費(看板作成等)	120,735円
			食糧費	1,080円
			印刷製本費	64,735円
	委託料	30,240円	駐車場整理業務委託	
	使用料及び賃借料	46,980円	映像ソフト借上料	
	計	522,234円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	501	50	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	363	558	421	410		
	合計(A)	864	608	522	610		
人件費	正規職員	業務量	0.54 人	0.66 人	0.66 人	0.66 人	
		人件費	4,208	5,176	5,176	4,951	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,208	5,176	5,176	4,951		
	合計(A+B)	5,072	5,784	5,698	5,561		
	市民1人当たりのコスト(円)	54	62	62	61		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標		90	90
	フェスタ参加者の満足度	さまざまな人権課題について広く市民に啓発し多くの人に理解してもらう。	%	実績 98	96	98	
	指標化できない成果			達成	106.7%	108.9%	

方向	継続	課題及び改善案	「ひゅーまんフェスタ」は、平成27年度までの5年間、非核平和に特化した内容で実施したが、平成28年度からさまざまな人権問題について学び、考えることができる機会として事業を改善して実施したところ、参加者の理解や関心を高めることができた。今後はより多くの団体からさまざまな人権課題や現状を発信していただく場として開催し、参加者の理解や関心が高まるように継続して事業を実施する。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費	決算書頁
82 - 0		167

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	521 性別による分け隔てをなくす	平成 24 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-01
	基本事業	① 男女の参画拡大	担当部署	部・課名等
事務事業名	男女共同参画センター管理経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 上島 邦彦 0595-22-9632

事務事業の概要	対象	就学後の市民		
	目的	男女共同参画推進に関する講座や研究のための場を提供し、男女共同参画推進事業の中心的役割を果たす。		
	内容	男女共同参画に関する講座のチラシ・ポスターの掲示をしました。 最近の男女共同参画にまつわる情勢についての情報提供をしました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	通信運搬費	49,248円	閲覧用PC インターネット利用料	
	テレビ受信料	48,648円	NHKとケーブルテレビ受信料	
	駐車場借上料	115,720円	事業参加者等の駐車場代	
	システム等使用料	7,406円	閲覧用PC ソフト更新料	
	計	221,022円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	141	0	0	0
		一般財源	112	346	221	320
		合計(A)	253	346	221	320
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.42 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人
		人件費	3,273	3,451	3,451	3,301
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	3,273	3,451	3,451	3,301
合計(A+B)	3,526	3,797	3,672	3,621		
市民1人当たりのコスト(円)		38	41	40	40	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	ミーティングルーム全利用件数に対する、男女共同参画ネットワーク会議会員の利用件数	%	目標		20.0	22.0	26.0
			実績	17.4	21.3	25.9	
指標化できない成果		達成		100.0%	117.7%		

方向	改善	課題及び改善案	昨年度より男女共同参画ネットワーク会議会員によるミーティングルーム利用率が増加した。全会員に向け、会議等の際に施設利用を呼びかけるなど、引き続き機会を捉えたPRをしていく。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費	決算書頁
83 - 0		167

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	521 性別による分け隔てをなくす	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-55
	基本事業	① 男女の参画拡大	担当部署	部・課名等
事務事業名	男女共同参画推進経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 上島 邦彦 0595-22-9632

事務事業の概要	対象	全市民																						
	目的	性別に関わらず、誰もがあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざす。																						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次男女共同参画基本計画の進捗管理をしました。 ・男女共同参画ネットワーク会議会員とともに、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2017」を開催し、男女共同参画を実現する必要性の啓発を行いました。(参加者数367名) ・男女共同参画ネットワーク会議総会を開催しました。(出席者26団体) ・男女共同参画ネットワーク会議会員研修を実施しました。(参加者31名) ・男女共同参画社会実現に向け、対象者を絞って、4回講座を開催しました。(延べ参加者数85名) ・3年間で45名の修了生を目標に、みんなを活かす男性リーダー養成連続講座(全5回)を開催しました。(第1期修了生18名) ・男女共同参画ネットワーク会議交流会を2月26日に開催しました。(助産師林みち子さんによる講演会・意見交換 参加者数51名) ・男女共同参画に関する書籍や映像教材の整備をしました。 																						
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いきいき未来いが開催経費</td> <td>538,965円</td> <td>講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画講座開催経費</td> <td>300,031円</td> <td>講座実施委託料、食糧費</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画ネットワーク開催経費</td> <td>13,140円</td> <td>講演会講師謝礼、消耗品費</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画審議会</td> <td>68,658円</td> <td>審議会委員報酬、旅費</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>205,717円</td> <td>その他 視察旅費、消耗品、備品購入費等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,126,511円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	金額	摘要	いきいき未来いが開催経費	538,965円	講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等	男女共同参画講座開催経費	300,031円	講座実施委託料、食糧費	男女共同参画ネットワーク開催経費	13,140円	講演会講師謝礼、消耗品費	男女共同参画審議会	68,658円	審議会委員報酬、旅費	その他	205,717円	その他 視察旅費、消耗品、備品購入費等	計	1,126,511円			
事業	金額	摘要																						
いきいき未来いが開催経費	538,965円	講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等																						
男女共同参画講座開催経費	300,031円	講座実施委託料、食糧費																						
男女共同参画ネットワーク開催経費	13,140円	講演会講師謝礼、消耗品費																						
男女共同参画審議会	68,658円	審議会委員報酬、旅費																						
その他	205,717円	その他 視察旅費、消耗品、備品購入費等																						
計	1,126,511円																							

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,036	1,352	1,127	1,334
		合計(A)	1,036	1,352	1,127	1,334
	人件費	正規職員	業務量 0.72 人	0.85 人	0.85 人	0.85 人
		人件費	5,610	6,665	6,665	6,376
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	5,610	6,665	6,665	6,376
合計(A+B)	6,646	8,017	7,792	7,710		
市民1人当たりのコスト(円)		71	86	84	84	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
審議会等の女性登用率	意思決定の場への女性参画率アップを目指す。	%	目標	40	40	40
			実績	25.5	25	23.9
指標化できない成果		達成		62.5%	59.7%	

方向	改善	課題及び改善案	女性リーダー養成は平成23年度から5年間連続講座を実施し、98名の修了生を輩出した。この修了生を対象にしたスキルアップ講座を開催した。モチベーションアップや情報交換の場として、引き続き講座を開催していく。また、男女共同参画社会実現のためには、男性の認識・意識・理解が重要なため、平成29年度から3年間で45名の修了生を目標に、男性の連続講座を開催する。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費	決算書頁
84 - 0		167

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	521 性別による分け隔てをなくす	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-56
	基本事業	② 男女の人権尊重	担当部署	部・課名等
事務事業名	男女の人権尊重事業経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 上島 邦彦 0595-22-9632

事務事業の概要	対象	全市民		
	目的	性別に関わらず誰もが一人の人間として尊重される社会を目指す。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性法律相談を、相談希望者がいなかった月を除き年11回実施しました。(毎月第2水曜日に実施) ・男女共同参画センター情報紙「きらきら」を発行(年4回。組回覧により配布)しました。 ・三重県内男女共同参画連携映画祭を開催(「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」を上映)しました。(参加者192名) ・女性のための再就職セミナーを開催しました。 ・各支所主催 男女共同参画セミナーを実施(伊賀支所・鳥ヶ原支所・阿山支所・大山田支所・青山支所)しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	567,700円	女性法律相談報酬・きらきら編集員謝礼 セミナー謝礼等	
	旅費	55,242円	女性法律相談・伊賀支所セミナー手話通訳者 三重県内男女共同参画連携映画祭会議	
	需用費	111,569円	男女共同参画センター情報紙消耗品等	
	委託料	162,000円	映画上映業務委託(委託先:三重県映画センター)	
	使用料	36,880円	会場借上料	
	計	933,391円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	1,104	1,171	933	1,166	
	合計(A)	1,104	1,171	933	1,166			
	人件費	正規職員	業務量	0.63 人	0.64 人	0.64 人	0.64 人	
			人件費	4,909	5,019	5,019	4,801	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		4,909	5,019	5,019	4,801			
合計(A+B)	6,013	6,190	5,952	5,967				
市民1人当たりのコスト(円)			64	67	64	65		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	「男は仕事」「女は家事・育児・介護」と思わない市民の割合	固定的性別役割分担意識の解消の浸透度	%	目標		80	80
				実績	74	77	59
指標化できない成果		達成		96.2%	73.7%		

方向	改善	課題及び改善案	再就職を目指し、何をどんな風に計画を立てていくかを考えるヒントとなる講座を開催したところ、講義に熱心に聞き入る受講者の姿が印象的だった。今後「再就職支援」とともに、働き続けていくための能力向上の講座内容も再考する。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費	決算書頁
85 - 0		167

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	521	性別による分け隔てをなくす	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-57
	基本事業	③ ワーク・ライフ・バランスの推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先
				課長 上島 邦彦 0595-22-9632

事務事業の概要	対象	就学後の市民																																				
	目的	すべての人が仕事と家庭生活等を両立できる。																																				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・育児男子講座(父親向け育児講座)、リフレッシュ講座(母親向け)を実施しました。(11家族34名参加) ・おとこの料理教室を実施しました。(12名参加) ・男女共同参画社会の実現にむけたワーク・ライフ・バランスの推進のため、経営者や管理職の意識改革を行うことを目的に、商工労働課と伊賀市人権学習企業等連絡会と共催で、学習会とイクボス講座を開催しました。(伊賀市人権学習企業等連絡会に加入の経営者・管理職・人事担当者として伊賀市役所の管理職対象。学習会34名、イクボス講座104名が参加) ・3月19日、「ハタラキカタ応援共同宣言式」をしました。(ハタラキカタ応援宣言をした企業・事業所・団体は、45社) ・人権啓発企業訪問でのワーク・ライフ・バランスの啓発をしました。 																																				
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児男子講座・リフレッシュ講座</td> <td>21,000円</td> <td>謝礼</td> <td>21,000円</td> </tr> <tr> <td>おとこの料理教室</td> <td>82,561円</td> <td>謝礼</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>52,561円</td> </tr> <tr> <td>イクボス講座</td> <td>103,252円</td> <td>謝礼</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>23,252円</td> </tr> <tr> <td>男女一緒に発見講座</td> <td>42,813円</td> <td>謝礼</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>2,813円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>249,626円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	金額	摘要		育児男子講座・リフレッシュ講座	21,000円	謝礼	21,000円	おとこの料理教室	82,561円	謝礼	30,000円			消耗品費	52,561円	イクボス講座	103,252円	謝礼	80,000円			消耗品費	23,252円	男女一緒に発見講座	42,813円	謝礼	40,000円			消耗品費	2,813円	計	249,626円			
事業	金額	摘要																																				
育児男子講座・リフレッシュ講座	21,000円	謝礼	21,000円																																			
おとこの料理教室	82,561円	謝礼	30,000円																																			
		消耗品費	52,561円																																			
イクボス講座	103,252円	謝礼	80,000円																																			
		消耗品費	23,252円																																			
男女一緒に発見講座	42,813円	謝礼	40,000円																																			
		消耗品費	2,813円																																			
計	249,626円																																					

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	事業参加負担金33,500円	
		地方債	0	0	0		
		その他	19	39	33		39
		一般財源	106	436	217		345
		合計(A)	125	475	250		384
人件費	正規職員	業務量	0.53 人	0.64 人	0.64 人	0.64 人	
		人件費	4,130	5,019	5,019	4,801	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,130	5,019	5,019	4,801		
合計(A+B)	4,255	5,494	5,269	5,185			
市民1人当たりのコスト(円)		46	59	57	57		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
講座受講者数	家事・育児を主体的に担おうとする人	人	目標		108	108
			実績	59	107	184
指標化できない成果		達成		99.0%	170.0%	

方向	改善	課題及び改善案
		ワーク・ライフ・バランスは、固定的性別役割分担意識の解消と働き方の見直し、また家庭の事情などで制約を受けながら仕事をする人への支援など、個々の意識改革と働く場での環境整備が必要であることから、その両方への啓発が必要である。今年度は、「ハタラキカタ応援共同宣言式」を実施したため、講座の受講者が増えたと考えられる。

整理番号
86 - 0

決算書頁
167

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	211	災害などの危機に強くなる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-01
	基本事業	② 自主防災組織活性化促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	防災関係経費		総合危機管理課	評価責任者・連絡先 課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	府中・三田・諏訪・新居・島ヶ原地区住民のほか市民、観光者及び避難所周辺滞在者。		
	目的	山崩れ・地すべり監視地域への警戒情報提供や避難所周辺の方への避難所誘導を確保する。		
	内容	<p>○上野地域及び島ヶ原地域における山崩れ予知監視・地すべり監視装置及び地下水位・変位計測装置について定期点検保守業務を年1回行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山崩れ予知監視装置(監視局:本庁、島ヶ原支所、中継局:西高倉(兼観測所)、観測所:諏訪、奥田、大道) ・地すべり監視装置(監視局:本庁、観測局:西条) ・地下水位計測装置・変位計測装置(観測局:土橋) <p>○西条・西高倉・諏訪・大道・奥田の雨量計の5台の保守点検を行った。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	2,329,560円	山崩れ・地すべり監視装置保守点検業務 1,814,400円 市内5ヶ所雨量計保守点検業務 515,160円	
	工事請負費	72,347,040円	山崩れ・地すべり監視装置改修 72,347,040円	
	計	74,676,600円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	69,100	68,600	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,349	9,605	6,077	2,330		
	合計(A)	8,349	78,705	74,677	2,330		
人件費	正規職員	業務量	1.57 人	1.57 人	1.57 人	1.00 人	
		人件費	12,232	12,311	12,311	7,501	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	12,232	12,311	12,311	7,501		
	合計(A+B)	20,581	91,016	86,988	9,831		
	市民1人当たりのコスト(円)	219	975	932	107		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	通信機器稼働日数	通信機器が正常稼働できる状態にあった日数	日	目標		365	365	350
				実績	366	365	365	
指標化できない成果	代替機器を用いて通信を行った場合	達成		100.0%	100.0%			

方向	継続	課題及び改善案	今年度は、新庁舎へ機材の移設を行うため、移設作業時の対応及び移設完了後に正常に稼働するよう適切な移設作業等が必要となる。
----	----	---------	--

整理番号
87 - 0

決算書頁
167

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	211 災害などの危機に強くなる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-52
	基本事業	② 自主防災組織活性化促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	自主防災組織活性化促進事業	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市内全地域を対象とした自主防災組織		
	目的	自主防災組織の活性化を促進し、災害時の共助体制を強化し被害を軽減する。		
	内容	○自主防災組織の活性化促進事業として、訓練を実施した組織に対して補助金を交付しました。 対象: 自主防災組織 17団体。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	200円	封筒	
	役務費	90,000円	傷害保険料	
	備品購入費	0円	自主防災組織資機材配備	
	負担金、補助及び交付金	382,740円	自主防災組織活動推進補助金	
	計	472,940円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	市単事業 訓練に係る経費で消耗品、使用料等を対象とし、食料費、備品は対象外。 消火栓用ホース購入のみの場合は、限度額の1/2の額。 「伊賀市自主防災組織活性化促進補助金交付要綱」		
		地方債	0	0	0			
		その他	0	0	0			
		一般財源	1,378	1,094	473		1,094	
		合計(A)	1,378	1,094	473		1,094	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.38 人	0.38 人	0.38 人		0.25 人	
		人件費	2,961	2,980	2,980		1,876	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人		人	人
		人件費						
		小計(B)	2,961	2,980	2,980		1,876	
合計(A+B)	4,339	4,074	3,453	2,970				
市民1人当たりのコスト(円)		47	44	37	33			

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	自主防災組織結成率	市内全世帯数のうち自主防災組織結成地域の自治会数	目標		314	314	314
			実績	306	306	306	
指標化できない成果	助成を受けずに独自で訓練等活動を実施している組織	達成		97.5%	97.5%		

方向	継続	課題及び改善案	市内において、現在8地区において自主防災組織が結成されていない。地域に住む住人が平常時からお互いに協力し合い「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識により、市内全域の結成に向け引続き、地域への働きかけを行う。
----	----	---------	--

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	211 災害などの危機に強くなる	平成 26 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-54
	基本事業	② 自主防災組織活性化促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	伊賀市地域防災計画推進事業	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民、観光者など市内滞在者。		
	目的	上位計画(三重県地域防災計画)の修正に合わせて更新する。		
	内容	・平成29年度については、伊賀市地域防災計画の修正を行わなかった。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	0円	防災会議委員報酬 0円	
	需用費	0円	消耗品費 0円	
	委託料	0円	印刷製本費 0円	
			伊賀市地域防災計画修正業務 0円	
	計	0円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,812	327	0	333
		合計(A)	2,812	327	0	333
人件費	正規職員	業務量	2.00 人	0.50 人	0.00 人	0.25 人
		人件費	15,582	3,921	0	1,876
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	0.00 人	人
		人件費			0	
	小計(B)	15,582	3,921	0	1,876	
合計(A+B)	18,394	4,248	0	2,209		
市民1人当たりのコスト(円)		196	46	0	24	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
進捗率	計画書の策定完了を100とした進捗の程度	%	目標	100 (風水害)	—	100
			実績	100	100	—
指標化できない成果		達成		100.0%	—	

方向	継続	課題及び改善案	防災施策の根幹となる計画であるため、専属で業務に取り組める環境が必要。上位計画の修正状況に合わせ、その都度修正作業が増加するため、計画性のある業務になりにくい。
----	----	---------	--

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	211 災害などの危機に強くなる	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-55
	基本事業	② 自主防災組織活性化促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	防災ハザードマップ作成推進事業		総合危機管理課	評価責任者・連絡先 課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	土砂災害ハザードマップを作成し、地域住民に周知する。		
	内容	<p>○久米、山田、阿波、高尾の4地域について、土砂災害ハザードマップの作成を行い、地域全戸に配布し周知を行った。本庁等で自由に持ち帰れるようにしている。</p> <p>土砂災害ハザードマップ作成部数 久米 4,000部、山田 3,000部、阿波 1,000部、高尾 1,000部</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	517,320円	土砂災害ハザードマップ作成	517,320円
	計	517,320円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
事業費	直接事業費	国庫支出金	278	907	258	5,216	地域減災力強化推進補助金(県単)	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	379	908	259	5,217		
		合計(A)	657	1,815	517	10,433		
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人		1.00 人
			人件費	7,791	7,841	7,841		7,501
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	7,791	7,841	7,841	7,501		
合計(A+B)	8,448	9,656	8,358	17,934				
市民1人当たりのコスト(円)			90	104	90	194		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	土砂災害ハザードマップ(久米、山田、阿波、高尾)配布数	地域住民に危険箇所を周知するため。	部数	目標		1,082	9,000	11,000
				実績	-	1,082	9,000	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	三重県が実施する調査結果に基づいて、市がマップにして住民等に配布するため、三重県の調査状況に左右される。
----	----	---------	--

整理番号
90 - 0

決算書頁
167

(会計)01一般会計(款)02総務費(項)01総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	211	災害などの危機に強くなる	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-56
	基本事業	② 自主防災組織活性化促進事業	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	避難所誘導標識等設置推進事業	担当部署 総合危機管理課	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民										
	目的	災害発生時に避難所まで誘導するため、避難所誘導標識を設置する。										
	内容	○避難所誘導標識の設置を行った。 博要地内(6箇所)										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,534,680円</td> <td>避難所誘導標識設置工事</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,534,680円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	1,534,680円	避難所誘導標識設置工事	計	1,534,680円		
経費	金額	摘要										
工事請負費	1,534,680円	避難所誘導標識設置工事										
計	1,534,680円											

全体コスト(千円)	事業費	項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直接事業費	国県支出金	397	714	714	0		地域減災力強化推進補助金(県単)	
			地方債	0	0	0	0			
			その他	0	0	0	0			
			一般財源	397	715	821	0			
			合計(A)	794	1,429	1,535	0			
		人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人			人
				人件費	7,791	7,841	7,841			0
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人			人
				人件費						
小計(B)	7,791		7,841	7,841	0					
合計(A+B)	8,585	9,270	9,376	0						
市民1人当たりのコスト(円)		92	100	101	0					

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	避難所誘導表示設置施設数	新たに避難所として設置する施設が対象となる。	箇所	目標		2	6	0
				実績	0	2	6	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	学校の統合や施設の取り壊し等により避難所が変更されたり、新たに指定されたりする。民間施設の利用に向けた協定等の検討も必要である。
----	----	---------	--